

令和2年3月31日

久留米市議会議長 様

久留米市城南町15番地3

会派名 明政会議員団

代表者名 吉富 巧



政務活動費事業実績報告書

久留米市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1 事業の完了年月日 令和2年3月31日（令和元年度分）

2 事業実績の概要

・国内行政視察、研修会参加

7月 1日～ 3日 岩手県大槌町

8月 7日～ 8日 地方議員セミナー参加（東京都）

11月 6日～ 8日 日本経営協会セミナー参加（大阪市）

1月28日～30日 日本経営協会セミナー（大阪市）

1月29日～30日 地方議員研究会セミナー（東京都）

2月 9日～10日 地方議会総合研究所セミナー（京都市）

2月16日～17日 地方議員研究会セミナー（東京都）

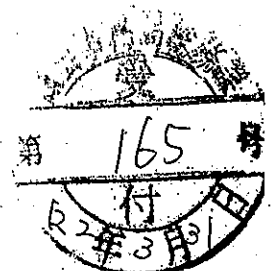
2月18日～20日 地方議員研究会セミナー（東京都）

・市政報告の発行

・調査研究費（交通費）

・事務費

パソコン他周辺機器の購入、タブレット通信費用



視 察 報 告 書

令和元年 7 月 16 日

会 派 名 明 政 会 議 員 団
代 表 者 吉 富 巧 様

会 派 名 明 政 会 議 員 団
報 告 者 石 井 秀 夫



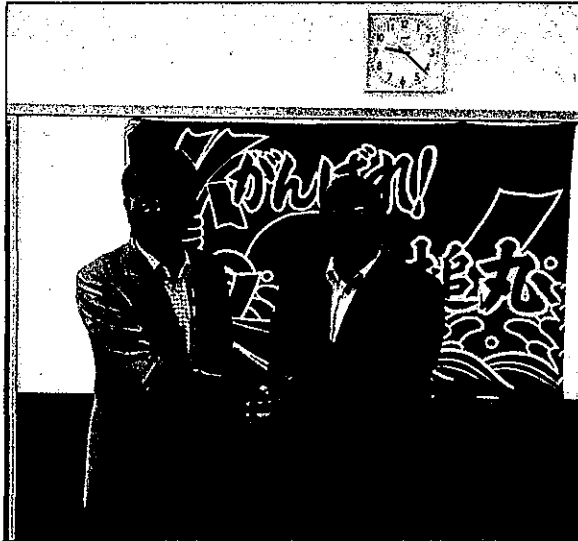
政務活動のため視察調査を実施したので、その概要を報告いたします。

実施年月日	令和元年 7 月 1 日（月）～ 令和元年 7 月 3 日（水）
視察地	岩手県 大槌町・釜石市
参加議員名	石井秀夫 吉富 巧
視察項目	復興のまちづくりの方向と新コミュニティへの取り組みについて。
視察の目的	東日本大震災の発災から 8 年、崩壊したコミュニティ再生の取り組みと、そのまちづくりについて。
当該視察を選定した理由	大槌町 8 年前の発災直後から毎年草刈りボランティアで往訪して地域の皆様と共に復興支援に取り組み、コミュニティ再生を調査。 釜石市 いのちをつなぐ未来館開館もあり、まちづくりの方向とその取組についての調査。
説明者	大槌町 平野公三町長・コミュニティ総合支援室 四戸直紀班長・文化交流センター 白澤洋喜班長 釜石市 いのちをつなぐ未来館指定管理者（株）かまいし DMC 地域創生事業部 佐々 学・伊藤 聡
説明内容	大槌町 別紙①大槌町復興レポート（31 年 4 月 1 日） 釜石市 別紙①いのちをつなぐ未来館 ②2011.3.11 東日本大震災釜石からのメッセージ
視察の成果と久留米市へ期待される効果	大槌町 平野町長とは 2 回目の会見であるが、ハード面の復興がほぼ見えてきた、三鉄の開通や防潮堤の完成そして中心市街地の整備等で地域住民交流の場も複数各地域に整備され、コミュニティ再生への取り組みを、多世代交流中心に大胆に取り組まれている。本市においても、さらなる多世代交流の取り組み促進が必要である。 釜石市 いのちをつなぐ未来館視察にて被災者からの「未来のあなたへ 10 のメッセージ」命の大切さ、その一つ一つが心に沁みだ。久留米市でも命と絆の大切さを普段からあらゆる場面で、多世代に伝える取り組みを、さらに進める事が肝要である。

大槌町平野公三町長と会見。

8月の町長選挙前で多忙な中、町への熱い思いを語っていただきました。

応急仮設住宅入居者対応は災害復興公営住宅の充実により完了予定だが、少数の町民については更なる理解をいただく取り組みが必要である事。町外避難者 3070 名等人口問題の解決。漁業をはじめとする生業の衰退。課題は山積だが先ずは、コミュニティ再生から取り組みを進めて参りたいと力を込めて語られました。



釜石市

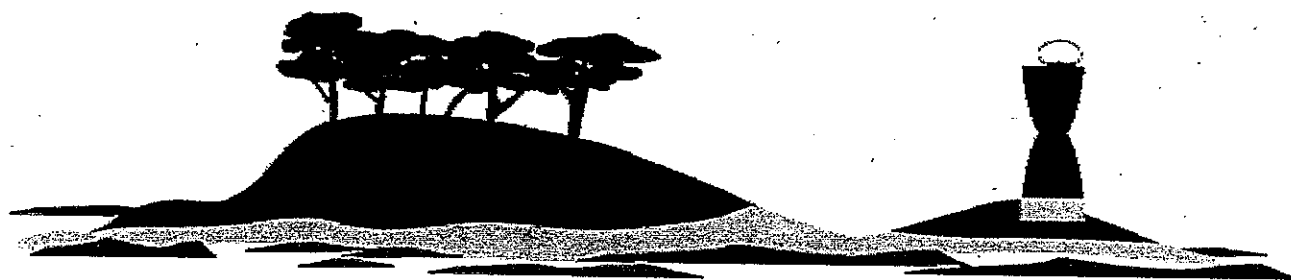
いのちをつなぐ未来館視察

大槌町復興レポート

平成31年4月1日現在

(令和元年7月発行)

岩手県大槌町



目次

	スライド番号		スライド番号
I 東日本大震災津波の概要			
1 地震及び津波の概要	1	(6) 放課後こども教育センター	26
2 被害の状況等	3	(7) 公民館	27
3 町方地区の状況	4	(8) 集会所	27
		(9) 避難路	28
II 第9次大槌町総合計画の概要	5	(10) 大槌町文化交流センター	29
		(11) 大槌駅観光交流施設	30
III 復旧・復興の進捗状況	8	5 震災津波伝承	31
町方地区を中心とした航空写真	8	(1) 納骨堂	31
1 町民生活の状況	10	(2) デジタルアーカイブ	32
(1) 人口及び世帯数の推移	10	(3) 生きた証	33
(2) 応急仮設住宅の設置状況	11	(4) 震災伝承展示	34
(3) 町外避難者数等	13	6 生活再建と支援	35
2 町の復旧・復興の状況	14	(1) 地域復興協議会とコミュニティ協議会	35
(1) 予算の状況	14	(2) 自治会の設立状況と活動例	36
(2) 復興事業の進捗状況 ～職員数～	15	(3) ボランティア数の推移	37
(3) 復旧事業の進捗状況	16	7 スケジュール	38
(4) 復興事業の進捗状況	17	(1) 面整備	38～39
(5) 復興事業の進捗状況 ～災害公営住宅～	20	(2) 災害公営住宅	40～41
3 産業の状況	21	IV 各地区の土地利用の状況	
(1) 生業の状況	21	1 町方地域、小枕・伸松地域	42～47
(2) 水産業の状況	22	2 安渡地域	48～52
4 公共施設の再建状況	24	3 赤浜地域	53～55
(1) 消防署	24	4 吉里吉里地域	56～59
(2) 消防屯所	24	5 沢山地域	60
(3) 消防会館	24	6 浪板地域	61
(4) 県立大槌病院	25		
(5) 大槌学園	26	V 各事業の問い合わせ先	62

I 東日本大震災津波の概要

1. 地震及び津波の概要

項 目	東日本大震災津波
発生日時	平成23年3月11日(金) 14時46分頃
震央地名	三陸沖(北緯38.06.2度 東経142.51.6度)
震源の深さ	24km
規 模	マグニチュード9.0(モーメントマグニチュード)
周辺の震度	震度6弱(釜石市)
津 波	3月11日 14時49分 大津波警報発表 3月12日 20時20分 津波警報 3月13日 7時30分 津波注意報に切替 3月13日 17時58分 津波注意報解除 ※津波の最大波 表1-1
津波浸水高	表1-2
津波痕跡高	痕跡高最大13.7m(安渡)
浸水面積	4平方キロメートル(住宅・市街地面積の52%)

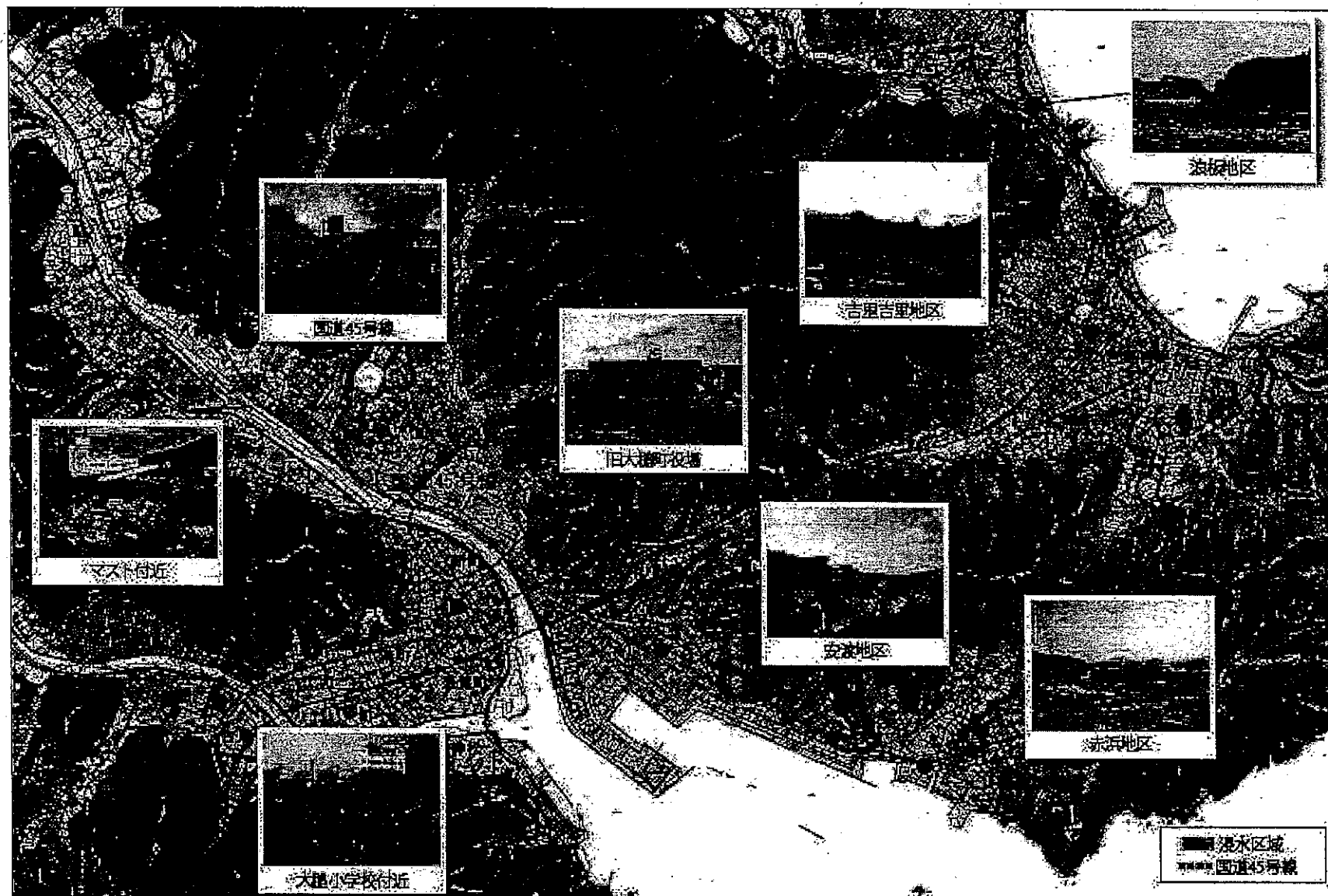
表1-1

調査地域	最大波
釜石	15時21分 4.2m以上
宮古	15時26分 8.5m以上
大船渡	15時18分 8.0m以上
久慈港	15時21分 8.6m以上

表1-2

調査地域	津波浸水高
吉里吉里	16.1m
吉里吉里漁港東側	22.2m
赤浜	12.9m
新港町	12.7m
町役場付近	10.7m
浪板 (※津波遡上高)	19.1m

1. 地震及び津波の概要



津波浸水区域

2. 被害の状況等

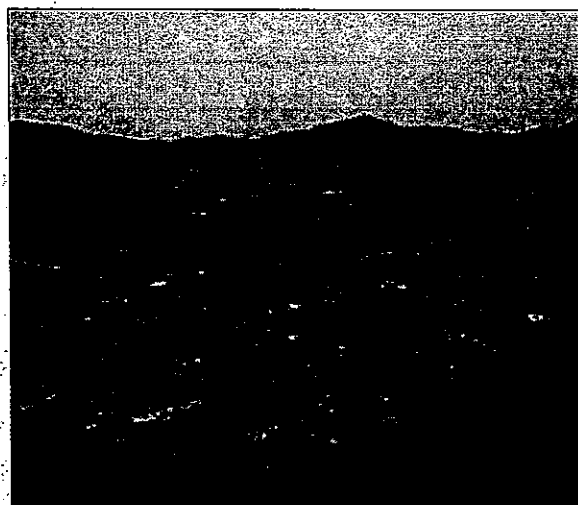
被害の区分	被害	備考	
人的被害	死者	817人	
	行方不明者	417人	
	震災関連死	52人	
	計	1,286人	
家屋被害 (H27.4確定)	全壊・半壊	4,167棟	
	一部損壊	208棟	
	計	4,375棟	
産業被害	水産業	5,127,926千円	水産施設、漁船、養殖施設等
	農業	610,000千円	水田、畑、用水路、農道
	林業	271,741千円	林野、林道
	商工業	14,039,490千円	建物、機械設備、商品等
	観光業	1,684,607千円	観光施設、自然公園
	計	21,733,764千円	
公共施設 被害	役場庁舎等	9,555,102千円	建物、公用車等
	消防施設等	427,364千円	庁舎、機械、装備、消火栓等
	道路・海岸等	41,181,244千円	公共下水道等
	上水道施設	2,213,311千円	ポンプ場等
	学校	3,044,796千円	建物、設備等
	社会教育施設	1,305,284千円	公民館、図書館、運動場等
	社会福祉施設	136,660千円	児童・障がい・高齢者・福祉施設等
	計	57,863,761千円	
産業・公共施設被害(合計)		79,597,525千円	

3. 町方地区の状況

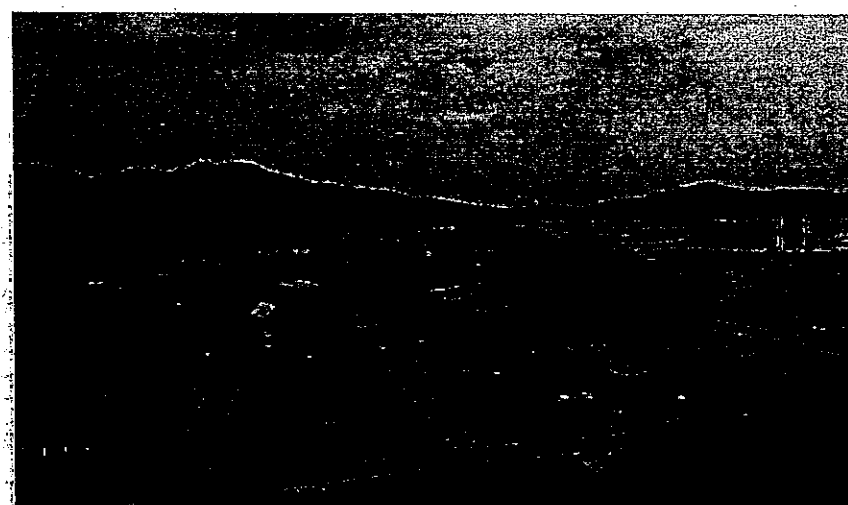
震災前



震災直後



現在 (R1年6月20日撮影)



城山から見た中心市街地の様子

Ⅱ 第9次大槌町総合計画の概要

○計画策定の趣旨

第9次大槌町総合計画は、平成30年度末に「大槌町東日本大震災津波復興基本計画」の計画期間が終了となるため、その後継として策定するものです。本計画は町民憲章を踏まえ、町民と行政との協働により、持続可能なまちづくりに向け、着実に進んでいくための総合的な指針となるものです。

○計画の構成と期間

区分	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
基本構想	基本構想（10年間）									
基本計画	前期基本計画（5年間）					後期基本計画（5年間）				
実施計画	3年間単位で1年ごとのローリング									

Ⅱ 第9次大槌町総合計画の概要

基本理念

魅力ある人を育て

新しい価値を創造し続けるまち大槌

まちづくりの基本方針

産業・観光

基本方針 1 産業を振興し町民所得を向上させるまちづくり

健康・福祉

基本方針 2 健康でぬくもりのあるまちづくり

教育・文化

基本方針 3 学びがふるさとを育て
ふるさとが学びを育てるまちづくり

安全・快適

基本方針 4 安全性と快適性を高めるまちづくり

地域振興
行政取組

基本方針 5 将来を見据えた持続可能なまちづくり

震災復興

基本方針 6 未来につなげる着実な復興まちづくり

Ⅱ 第9次大槌町総合計画の概要

大槌町東日本大震災津波復興基本計画に掲げた基本方針を継承し、復興に向けた切れ目のない取組として「未来につなげる着実な復興まちづくり」を新たに掲げ、次の4つの施策で着実に進めます。

未来につなげる着実な復興まちづくり

基本方針

6

基本施策

主な取組

1. 事業者の本設再建と 産業の再生

- ① 被災事業者の本設再建に向けた支援
- ② 復興に向けた雇用対策の充実

2. 支え合い誰もが暮らし続けられる 地域社会づくり

- ① 仮設住宅から復興市街地への移行支援
- ② 被災者の生活再建支援
- ③ 復興市街地におけるコミュニティの再生

3. 未来の大槌人の育成/ 文化の再生と知の継承

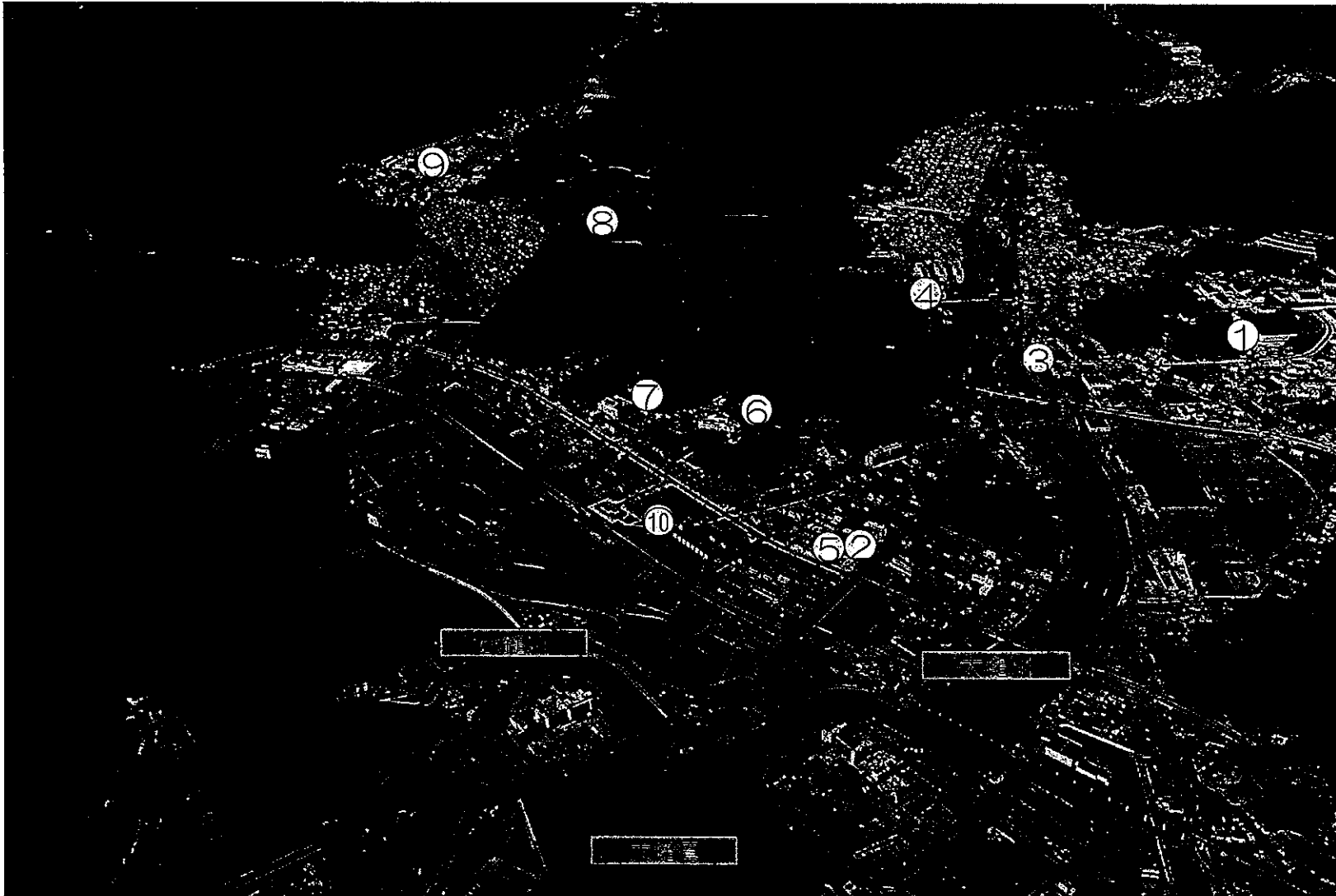
- ① 被災した地域施設の再生と多目的な活用
- ② 防災文化を継承し、自然・文化を再生する町民活動の展開(略)
- ③ 子どもたちが安心して学べる環境づくり

4. 魅力ある持続可能なまちづくり/ 地域資源としての風景の再生

- ① 減災・情報伝達・避難・救援活動等に配慮した復興市街地づくり
- ② 災害への耐性、環境への配慮、長期的維持管理の視点を導入した社会基盤・公共施設の整備

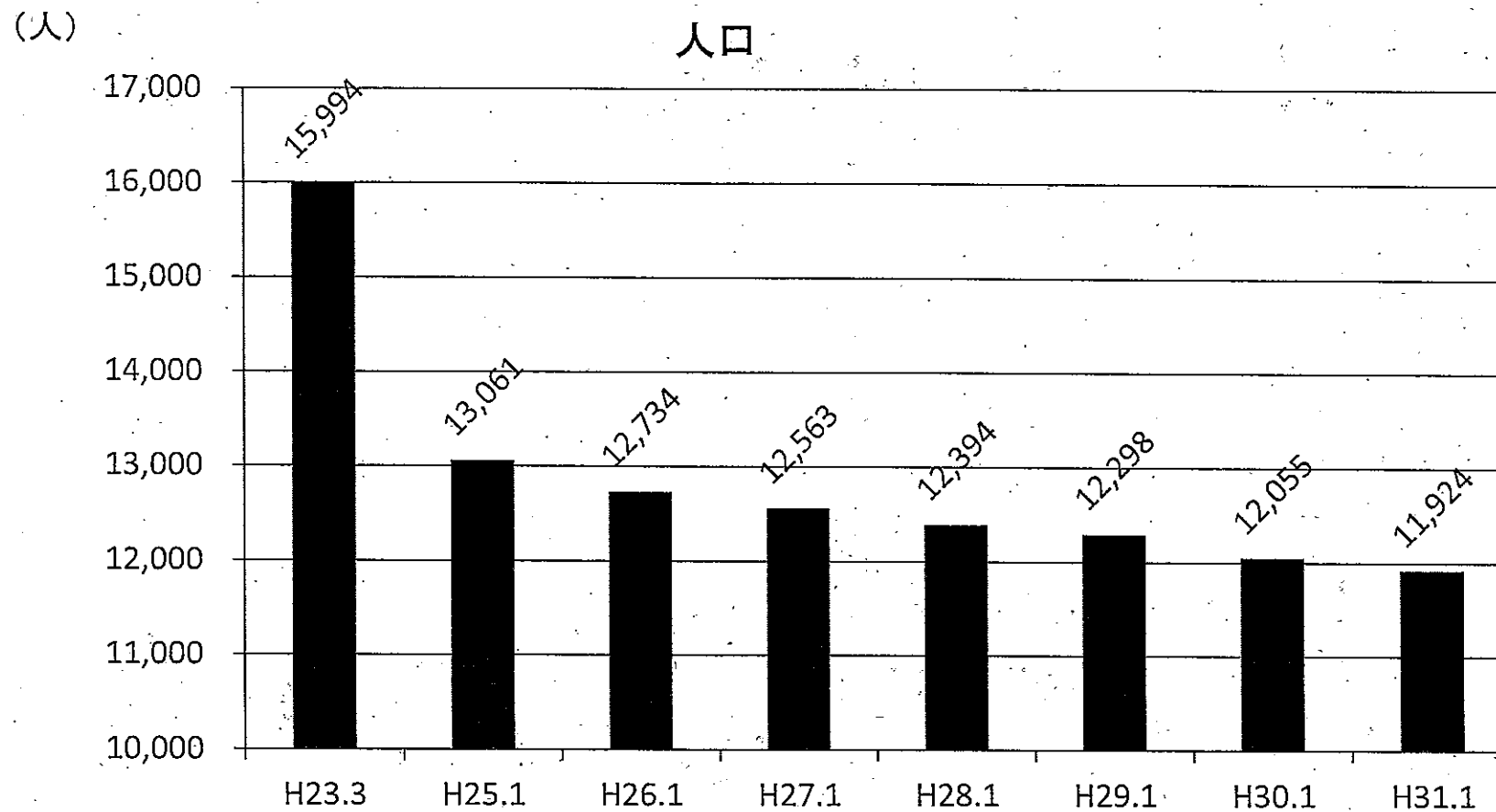
Ⅲ 復旧・復興の進捗状況

町方地区を中心とした航空写真（H29.12.20撮影）



- 1 大槌学園・大槌高校
- 2 大槌郵便局
- 3 復興きらり商店街
- 4 大槌消防署
- 5 大槌町文化交流センター
- 6 中央公民館
- 7 大槌町役場
- 8 桜木町地区避難路
- 9 県立大槌病院
- 10 大槌駅

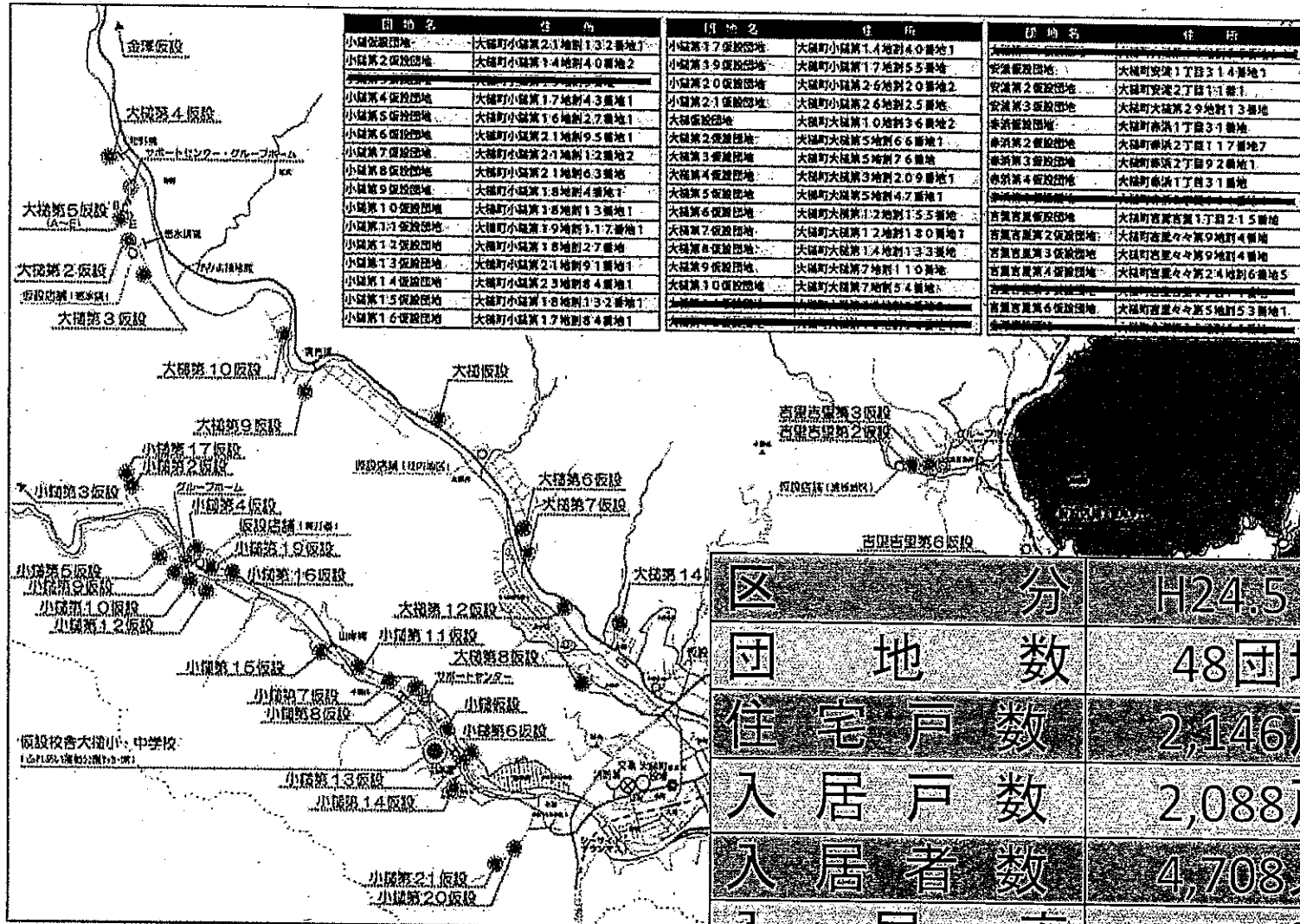
1. 町民生活の状況 (1)人口及び世帯数の推移



震災前 (H23.3.1)	現在 (H31.1.1)	増 減
15,994 人	11,924 人	▲4,070 人
6,348世帯	5,378世帯	▲970世帯

※住民基本台帳による数値

(2) 応急仮設住宅の設置状況



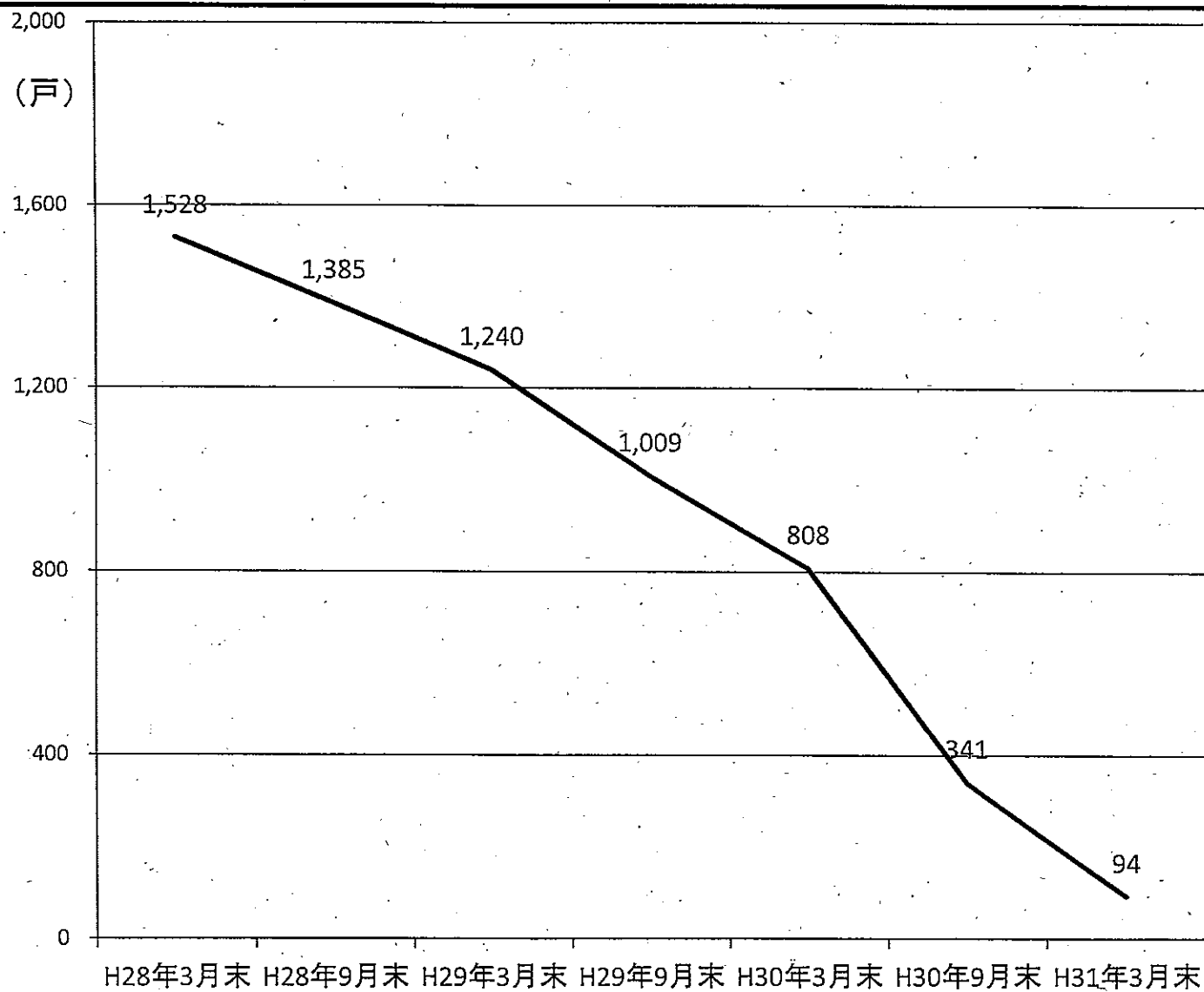
団地名	住所
小島第17仮設団地	大塚町小島第21地割132番地1
小島第2仮設団地	大塚町小島第14地割40番地2
小島第3仮設団地	大塚町小島第17地割17番地1
小島第4仮設団地	大塚町小島第17地割43番地1
小島第5仮設団地	大塚町小島第16地割27番地1
小島第6仮設団地	大塚町小島第21地割95番地1
小島第7仮設団地	大塚町小島第21地割12番地2
小島第8仮設団地	大塚町小島第21地割63番地1
小島第9仮設団地	大塚町小島第18地割4番地1
小島第10仮設団地	大塚町小島第18地割13番地1
小島第11仮設団地	大塚町小島第9地割117番地1
小島第12仮設団地	大塚町小島第18地割27番地1
小島第13仮設団地	大塚町小島第21地割91番地1
小島第14仮設団地	大塚町小島第23地割84番地1
小島第15仮設団地	大塚町小島第18地割132番地1
小島第16仮設団地	大塚町小島第17地割84番地1

団地名	住所
小島第17仮設団地	大塚町小島第14地割40番地1
小島第19仮設団地	大塚町小島第17地割55番地
小島第20仮設団地	大塚町小島第26地割20番地2
小島第21仮設団地	大塚町小島第26地割25番地
大塚第1仮設団地	大塚町大塚第10地割36番地2
大塚第2仮設団地	大塚町大塚第5地割6番地1
大塚第3仮設団地	大塚町大塚第5地割7番地
大塚第4仮設団地	大塚町大塚第3地割209番地1
大塚第5仮設団地	大塚町大塚第5地割47番地1
大塚第6仮設団地	大塚町大塚第12地割155番地
大塚第7仮設団地	大塚町大塚第12地割180番地1
大塚第8仮設団地	大塚町大塚第14地割133番地
大塚第9仮設団地	大塚町大塚第7地割110番地
大塚第10仮設団地	大塚町大塚第7地割54番地

団地名	住所
宮城第1仮設団地	大塚町宮城1丁目314番地1
宮城第2仮設団地	大塚町宮城2丁目1番地1
宮城第3仮設団地	大塚町宮城2丁目13番地
津洲第1仮設団地	大塚町津洲1丁目31番地
津洲第2仮設団地	大塚町津洲2丁目117番地7
津洲第3仮設団地	大塚町津洲2丁目92番地1
津洲第4仮設団地	大塚町津洲1丁目31番地
宮城第1仮設団地	大塚町宮城第1丁目215番地
宮城第2仮設団地	大塚町宮城々々第9地割4番地
宮城第3仮設団地	大塚町宮城々々第9地割4番地
宮城第4仮設団地	大塚町宮城々々第24地割6番地5
宮城第5仮設団地	大塚町宮城々々第5地割53番地1

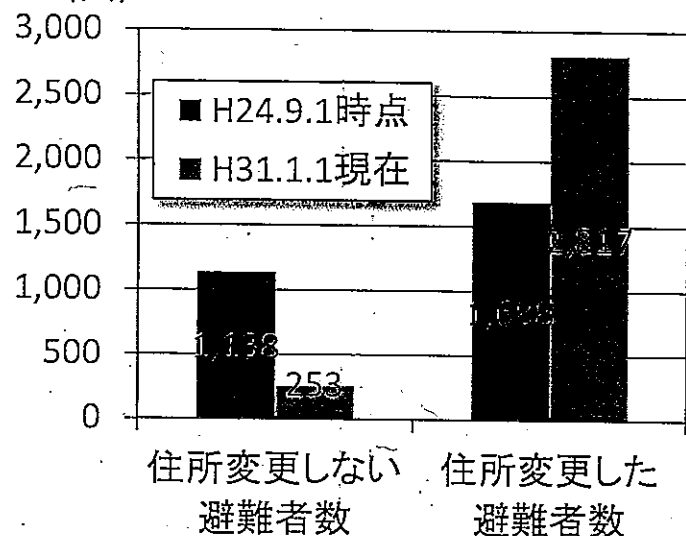
区分	H24.5	H31.4
	団地数	48団地
住宅戸数	2,146戸	1,934戸
入居戸数	2,088戸	218戸
入居者数	4,708人	418人
入居率	97.3%	11.2%
空き部屋数	58戸	1,716戸

(2) 応急仮設住宅の状況 ～入居見込戸数～



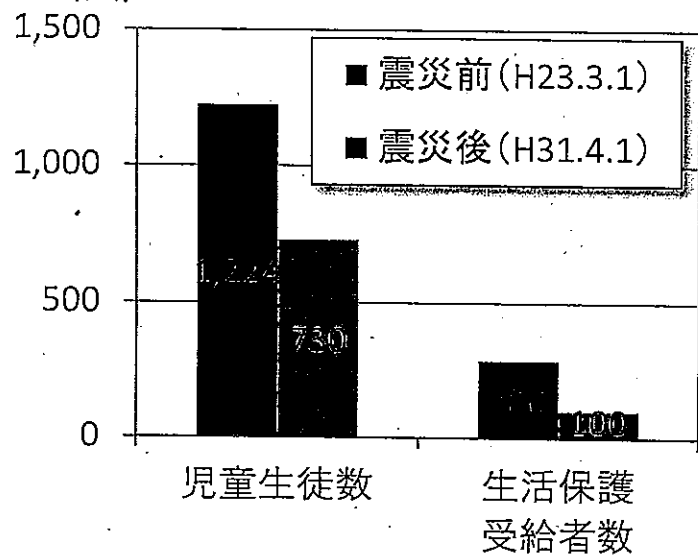
(3) 町外避難者数等

○町外避難者数
(人)



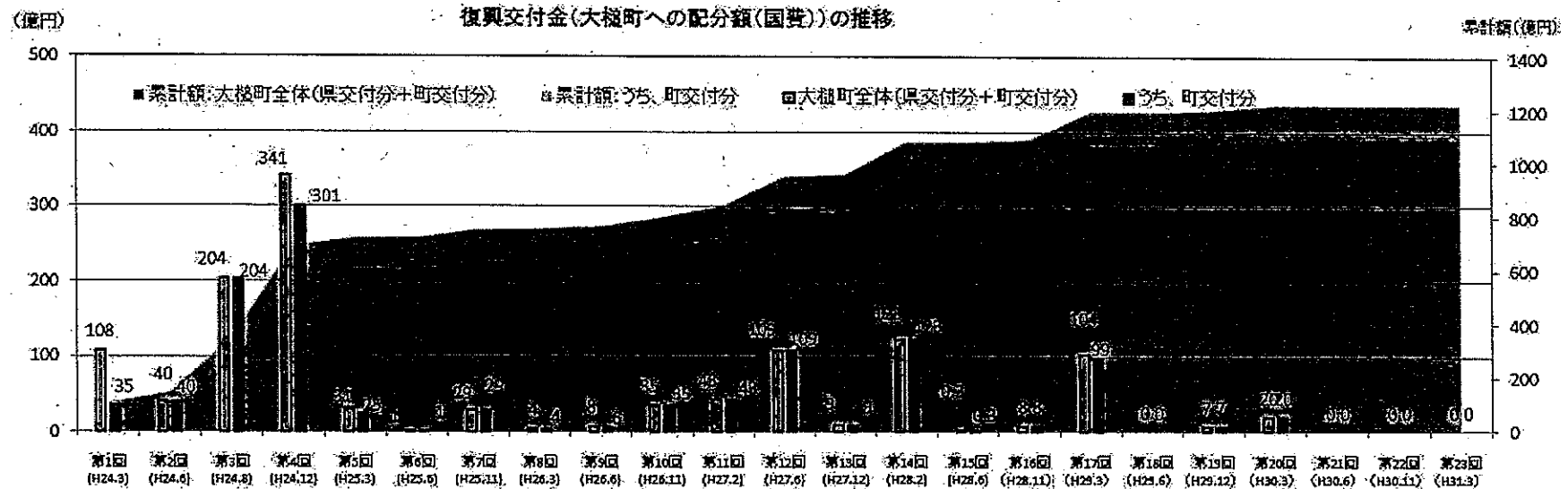
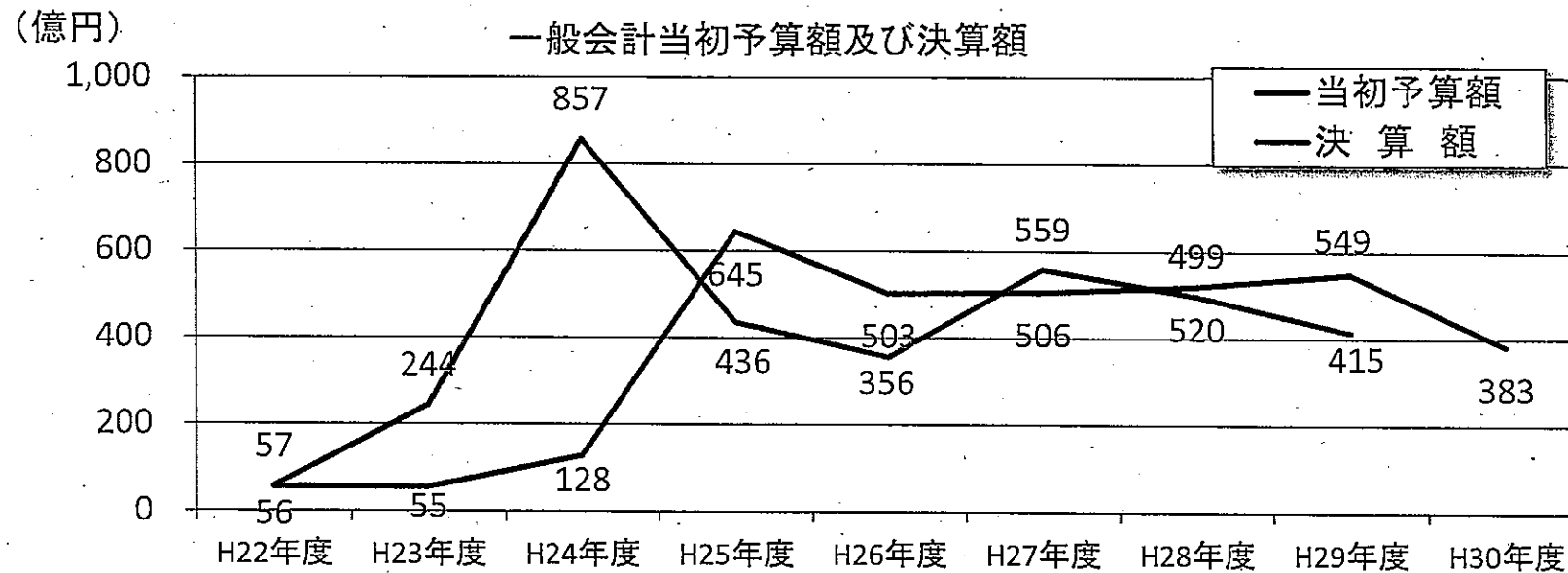
区 分	H24.9.1時点	H30.10.1現在	増 減
住所変更しない避難者数	1,138人	253人	▲885人
住所変更した避難者数	1,688人	2,817人	1,129人
計	2,826人	3,070人	244人

○児童生徒数・生活保護受給者数
(人)



区 分	震災前 (H23.3.1)	震災後 (H31.4.1)	増 減
児童生徒数	1,224人	730人	▲494人
生活保護受給者数	286人	100人	▲186人

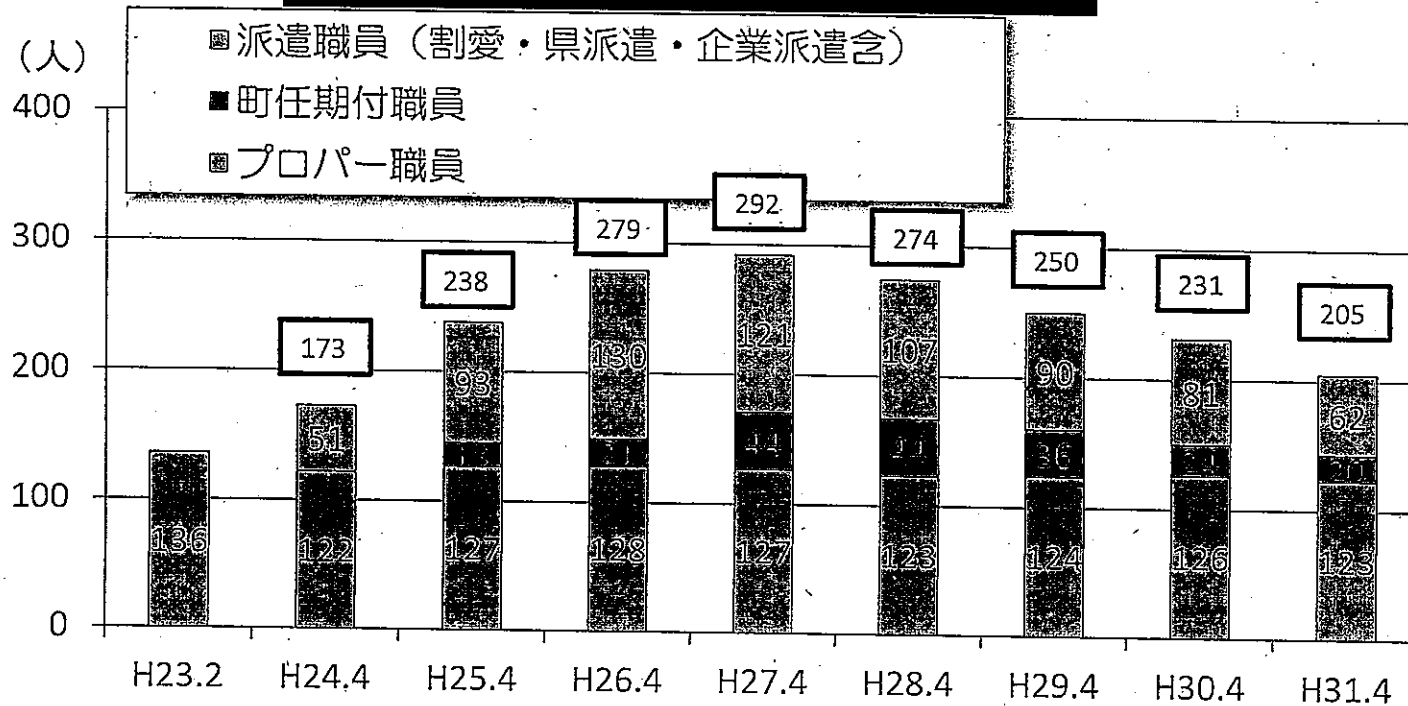
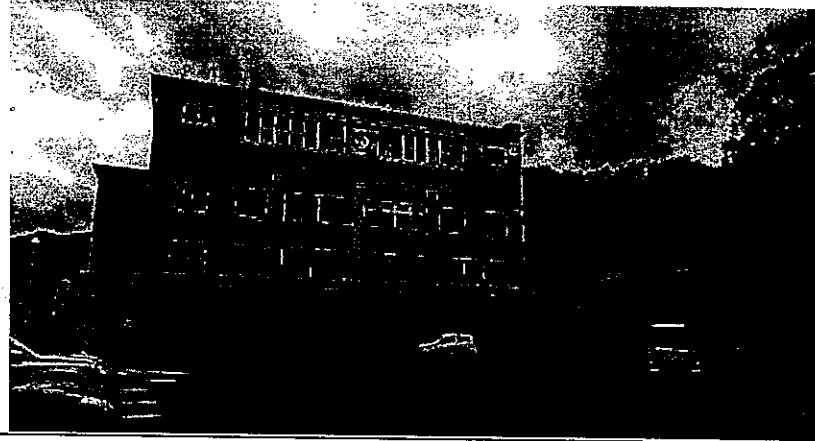
2. 町の復旧・復興の状況 (1) 予算の状況



※H31.4現在

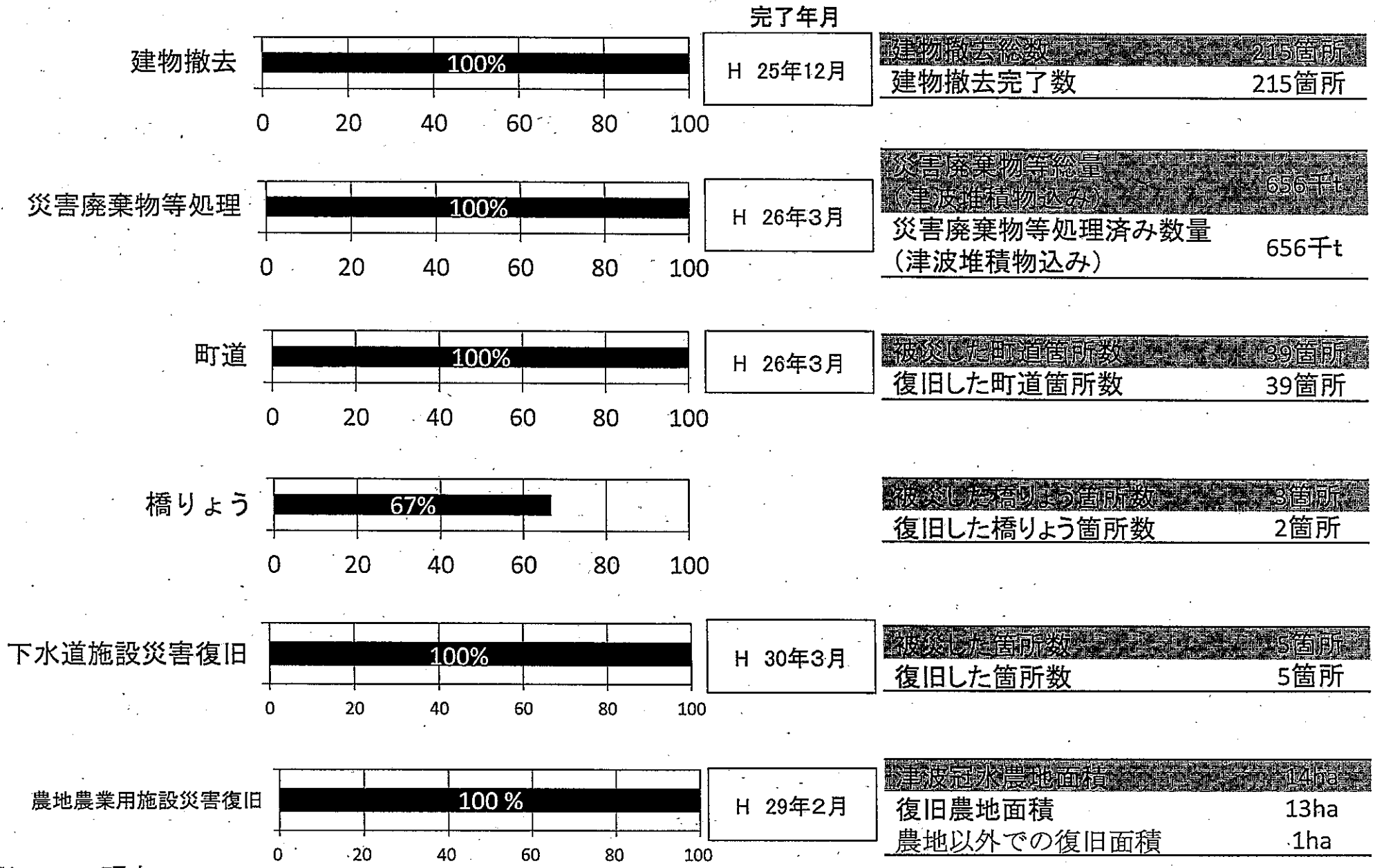
(2) 復興事業の進捗状況 ～職員数～

○職員数の推移



※H31.4.1現在

(3) 復旧事業の進捗状況

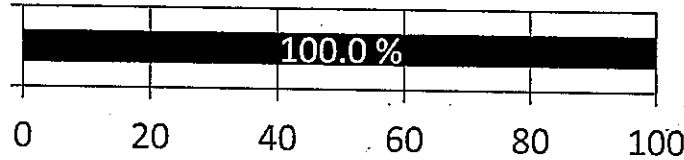


※H31.4.1現在

(4) 復興事業の進捗状況

① 土地区画整理事業

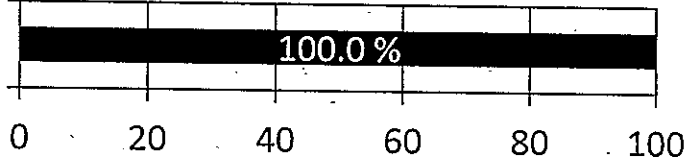
仮換地済面積



完了年月
H31年1月

換地計画面積 345,642.6m²
仮換地済面積 345,642.6m²

使用収益済面積

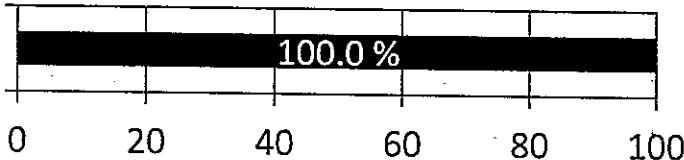


完了年月
H31年1月

換地計画面積 345,642.6m²
使用収益済面積 345,642.6m²

② 防災集団移転事業

整備済宅地戸数

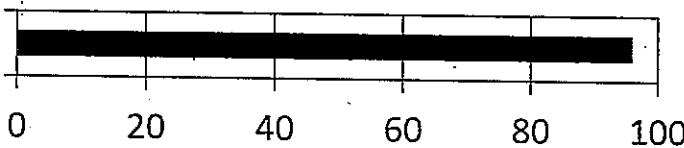


完了年月
H31年3月

計画宅地数 422戸
整備済宅地戸数 422戸

③ 災害公営住宅

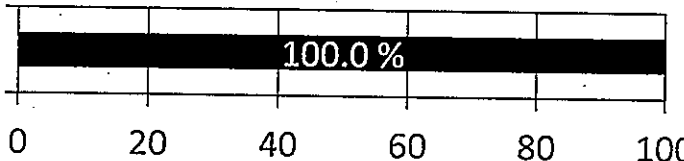
完成済戸数



計画戸数 878戸
完成済戸数 843戸

④ 漁業集落防災機能強化事業

整備済宅地戸数



完了年月
H29年7月

計画戸数 12戸
整備済宅地戸数 12戸

※H31.4.1現在

(4) 復興事業の進捗状況

① 土地区画整理事業

地区		町方	安渡	赤浜	吉里吉里	計
面積(ha)	※1	30.0	5.8	7.7	9.1	52.6
計画人口(人)	※1	2100	390	360	550	3,400
都市計画決定	当初	H24.9.28	H24.9.28	H24.9.28	H24.9.28	
	最新	H27.10.26	H27.8.19	H26.12.8	H27.8.19	
事業計画認可	当初	H25.3.7	H25.3.7	H25.3.7	H25.3.7	
	最新	H31.3.7	H30.8.21	H30.2.26	H31.3.1	
宅地完成年月	※2	H30.1	H31.1	H30.3	H29.10	
換地処分年月		H31.1	H32.2(予定)	H30.10	H30.3	

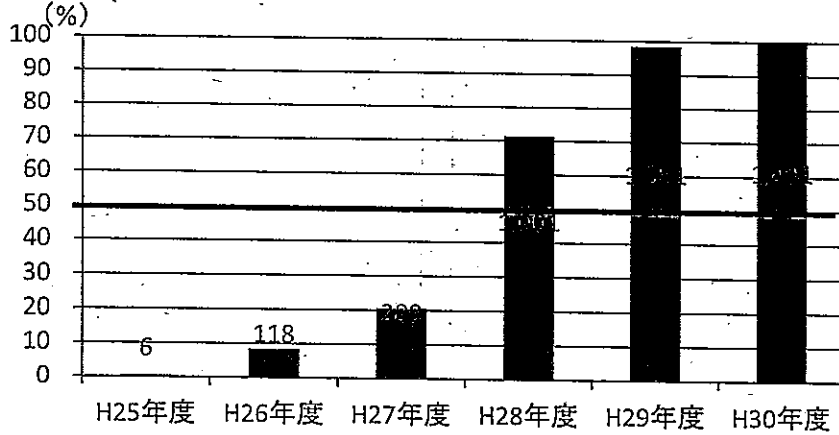
② 防災集団移転促進事業

地区		町方・小枕・伸松	安渡	赤浜	吉里吉里	浪板	計	
移転促進区域 面積(ha)	地区面積	28.5	13.6	6.7	8.3	3.3	60.4	
	住宅用地面積	※1	20.3	11.2	6.5	5.9	2.3	46.2
被災前戸数(戸)	※1	918	482	140	177	47	1764	
移転先住宅団地(戸)								
() 内は団地内の災害公営住宅戸数	※2	270 (38)	65 (0)	84 (36)	66 (0)	11 (0)	496 (74)	
移転先団地面積(ha)	※1	12.1	4.5	7.5	3.7	0.7	28.5	
国土交通大臣 同意・変更同意	当初	※1	H24.9.24	H24.9.24	H24.9.4	H24.9.24	H24.9.24	
	最新	※1			H30.8.10			
宅地完成年月	※2	H29.12	H30.6	H31.3	H28.9	H27.6		

H31.4.1現在 ※1:最新の事業計画、※2:最新の社会資本の復旧・復興ロードマップ(基準日:平成31年3月31日)の数値

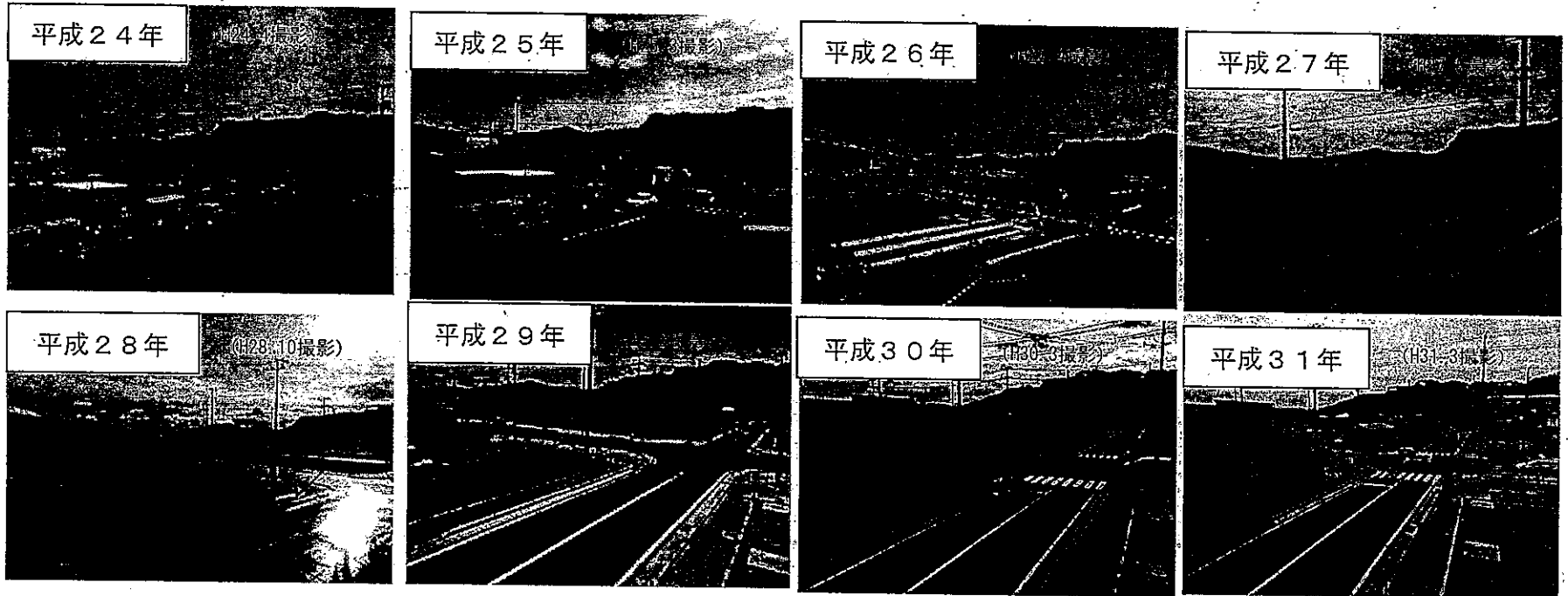
(4) 復興事業の進捗状況 ～区画整理等～

①復興まちづくり(区画数)



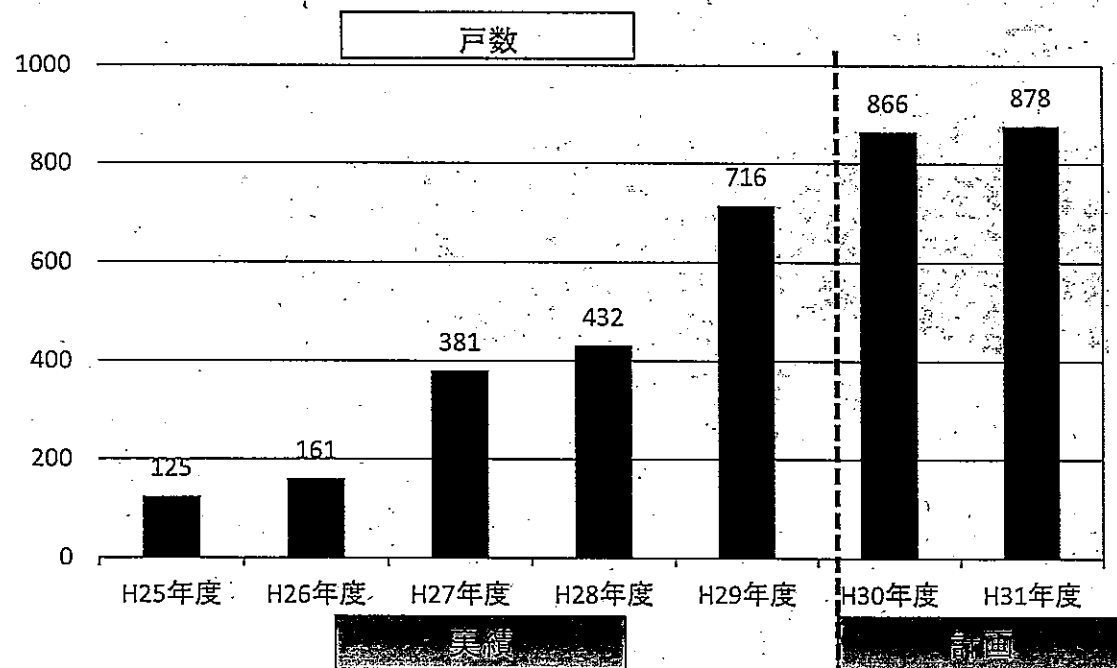
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計
土地区画整理	0	23	100	558	277	9	967
防災集団移転	6	89	71	142	103	11	422
漁業集落防災機能強化	0	0	0	12	0	0	12
区画合計	6	112	171	712	380	20	1,401
割合(%)	0	8	21	71	99	100.0	
累計	6	118	289	1,001	1,381	1,401	

撮影場所:町方地区



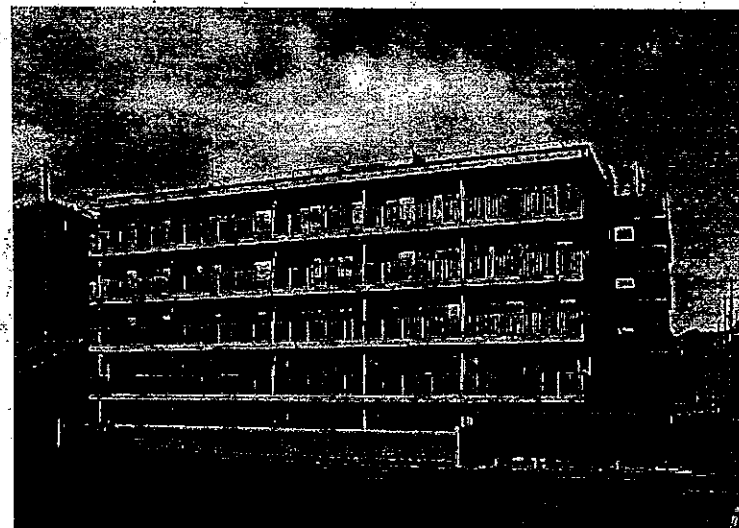
(5) 復興事業の進捗状況 ～災害公営住宅～

災害公営住宅戸数

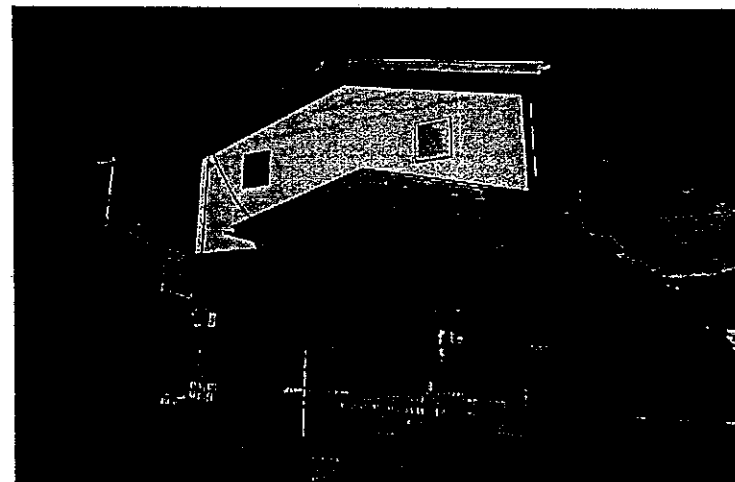


	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
単年度	125	36	220	51	284	150	12
累計	125	161	381	432	716	866	878

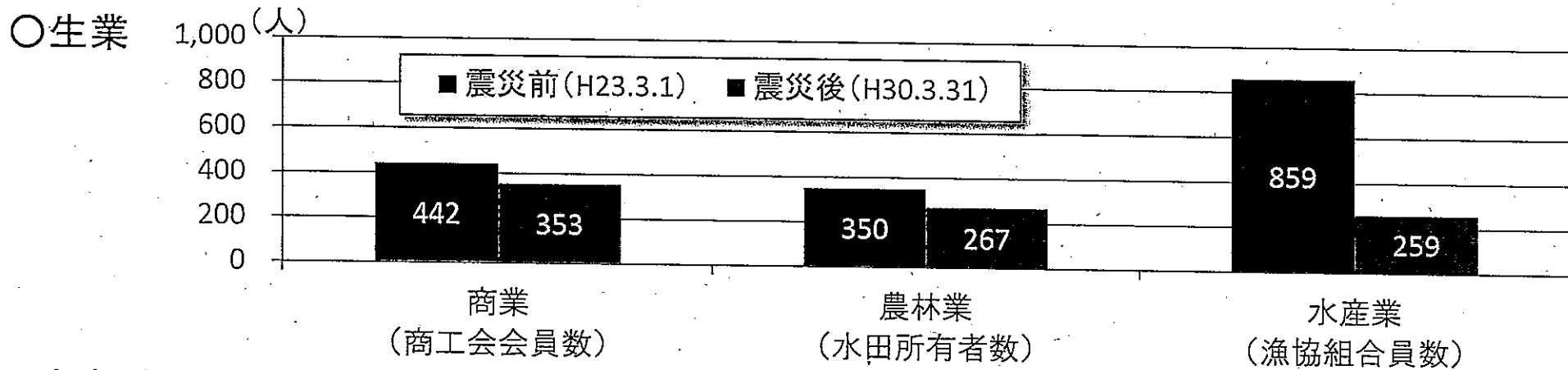
御社地町営住宅 H29.12 完成



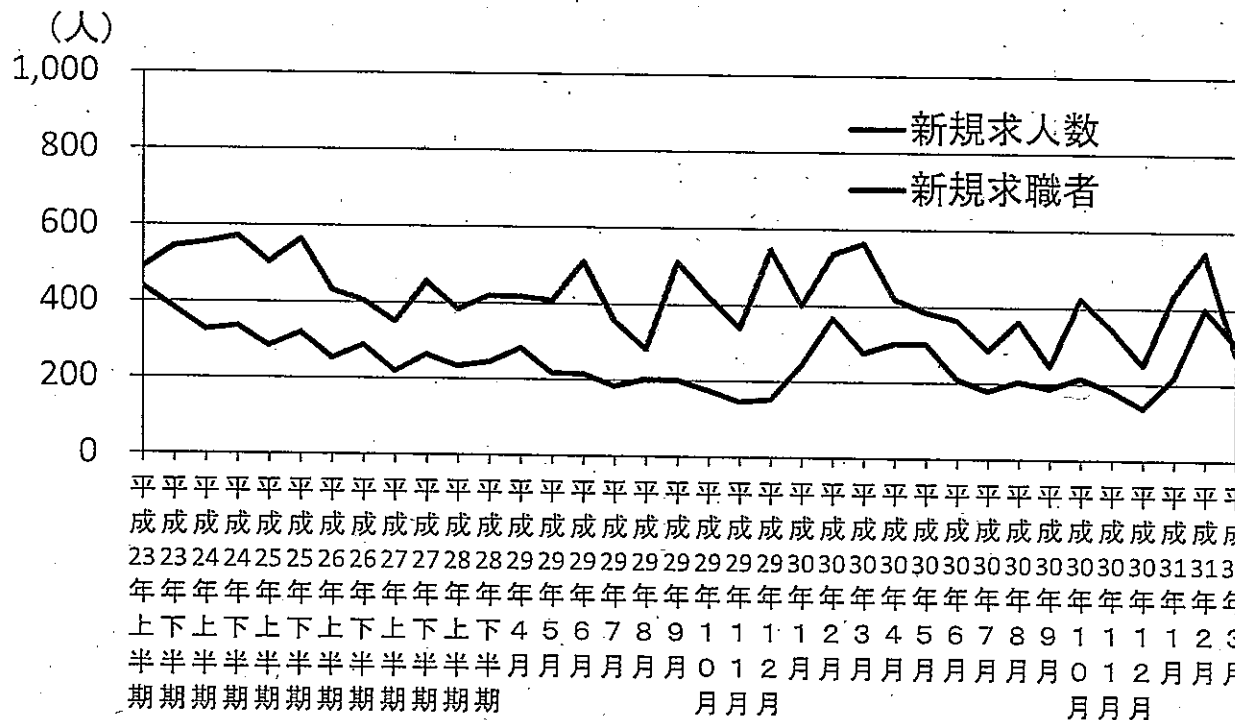
赤浜町営住宅 H29.12 完成



3. 産業の状況 (1) 生業の状況



○新規求職者数・求人数

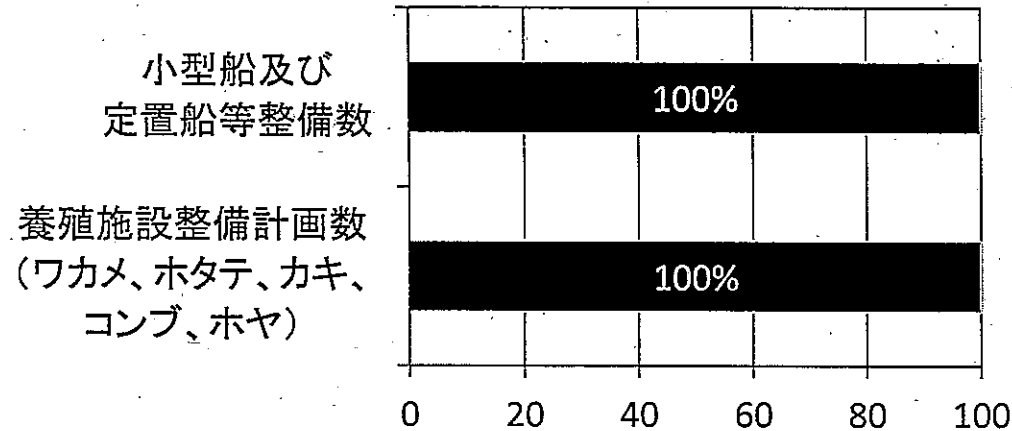


新規求職者数は、震災直後の平成23年5月以降、新規求人数を下回る傾向が続いている。

※H31.4.1現在

(2) 水産業の状況

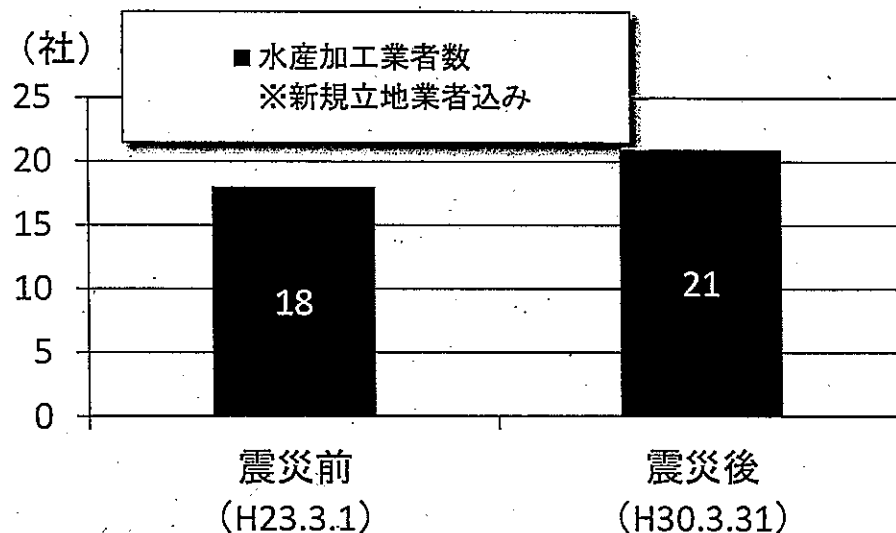
○施設等整備



小型船及び定置船等整備計画数	237隻
小型船及び定置船等整備数	237隻

養殖施設整備計画数 (ワカメ、ホタテ、カキ、コンブ、ホヤ)	580台
養殖施設整備数 (ワカメ、ホタテ、カキ、コンブ、ホヤ)	580台

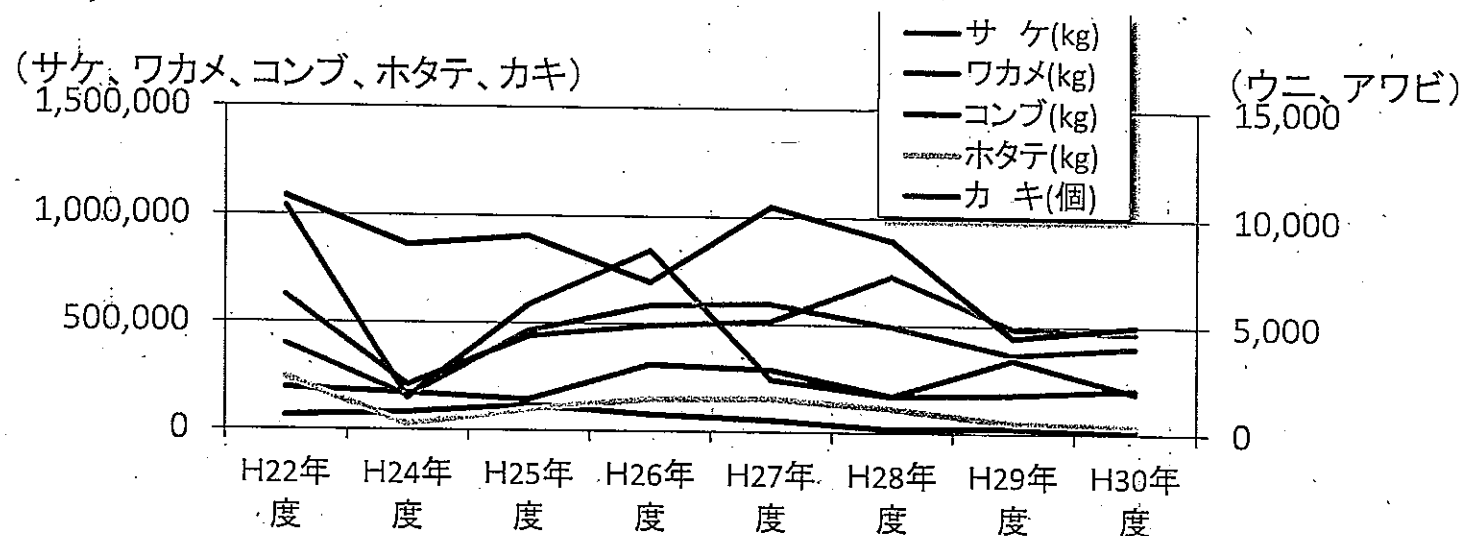
○水産加工業者数



※ナカシヨク、伊藤商店、浦田商店、ゼネラルオイスター、平庄、小豆嶋漁業、及順商店、たかのり海産、六串商店、あさひ堂、石山水産、小野食品、壮関、中里商店、越田鮮魚店、芳賀鮮魚店、デジタルブックプリント、魚よし、タイヨー、ひょうたん島苔屋、河合商店

(2) 水産業の状況

○主要水産物水揚げ高

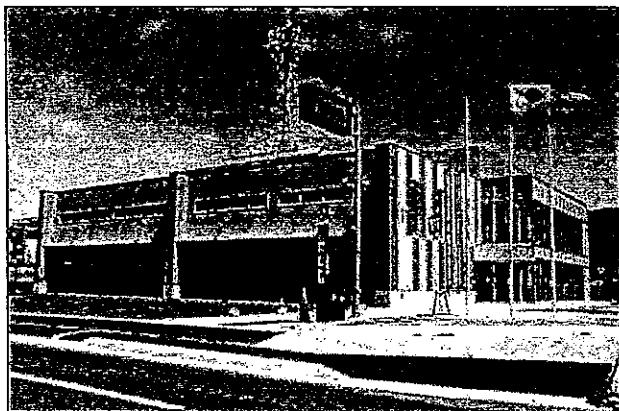


主要水産物水揚げ量表

区分	H22年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
サケ(kg)	1,037,194	150,386	588,321	842,084	246,845	170,369	180,570	206,974
ウニ(kg)	6,249	2,111	4,396	4,924	5,171	7,296	4,914	4,712
アワビ(kg)	10,837	8,625	9,045	6,941	10,477	8,948	4,447	4,995
ワカメ(kg)	197,023	175,025	145,233	309,739	289,151	171,460	342,220	191,209
コンブ(kg)	63,690	79,789	117,764	77,730	55,770	16,935	23,535	13,590
ホタテ(kg)	244,404	25,059	99,253	149,420	156,600	111,467	47,714	34,607
カキ(個)	399,290	159,253	464,798	586,359	598,390	497,076	366,250	402,410

4. 公共施設の再建状況 (1)消防署 (2)消防屯所(3)消防会館

(1) 消防署



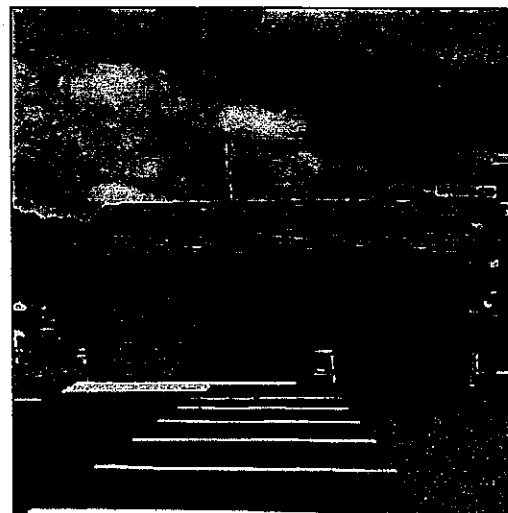
- 平成28年3月19日落成式・運用開始
- 所在地：大槌町大槌1-4地割1-4-2番地1
大槌中学校跡（源水地区）
- 再建施設はH26年に建築工事着手

(2) 消防屯所



- 第3分団第1部・第2部
消防屯所（菅壁菅壁）
- 平成29年5月31日完成
- 所在地：大槌町菅壁菅壁
二丁目5番14
- 木造 2階建て
- 建築面積 129.87㎡
- 延床面積 205.11㎡

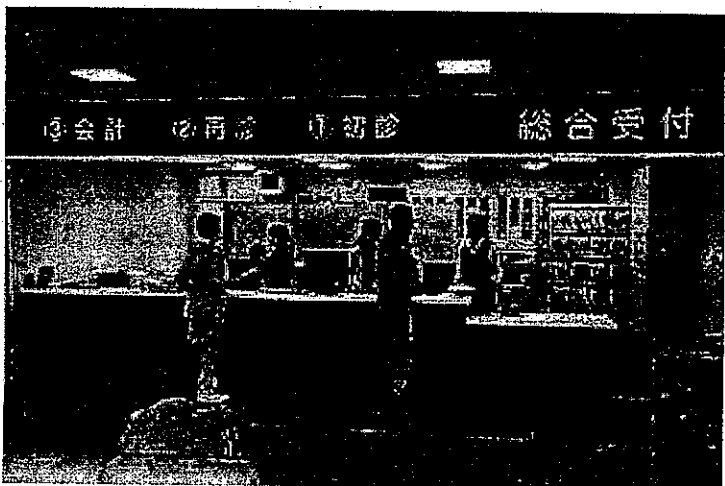
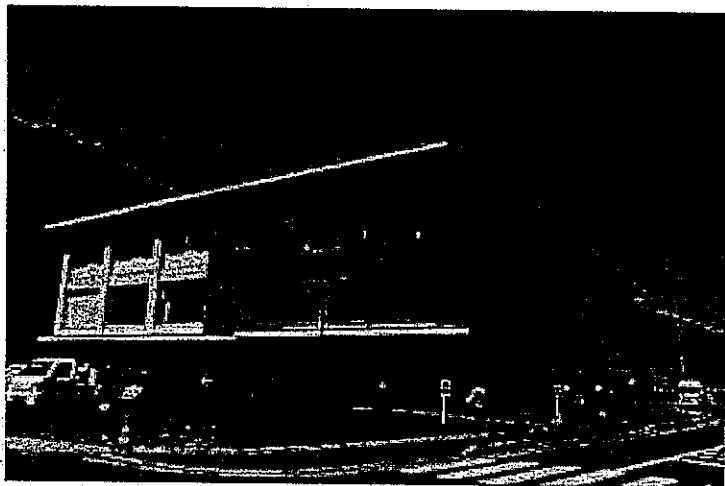
(3) 消防会館



- 消防会館（源水）
- 平成30年3月5日完成
- 所在地：大槌町大槌第1
4地割1-4-2番地3
- 木造 1階建て
- 建築面積 159.2㎡
- 延床面積 59.2㎡

(4) 県立大槌病院

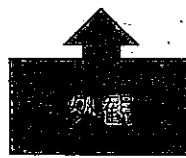
(4) 県立大槌病院



- 平成28年5月9日開院
- 所在地：上閉伊郡大槌町小槌22-31-2
- 病院の機能
 - (1) 圏域の地域病院として、広域基幹病院である県立釜石病院等と連携しながら高齢者を中心とした入院機能を担う。
 - (2) 診療時間内の一次診療を基本とし、診療時間外の救急は県立釜石病院で対応する。
 - (3) 入院患者を中心とした維持期のリハビリテーション機能を提供する。
- 診療科及び病床規模
 - (1) 診療科 内科、外科、整形外科、皮膚科、眼科
 - (2) 病床数 1病棟 一般病床50床

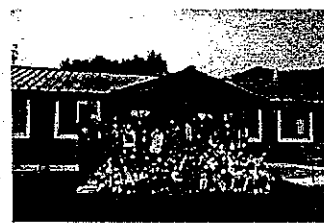
(5) 大槌学園 (6) こども教育センター

(5) 大槌学園



- H28年9月26日開校
- 所在地：大槌町大槌第15地割71番地9
- 大槌小、大槌北小、赤浜小、大槌中学校が被災。
- 安渡小を含め4小学校・1中学校を合わせて寺野地区に仮設校舎設置後、「大槌学園小中一貫教育校」として再建。
- 仮設校舎期間：H23年9月22日～H28年9月25日
- H27年4月から大槌町独自の事業として、小中一貫教育「ふるさと科」が本格実施。
- H28年4月から義務教育学校となる。

(6) こども教育センター (OLA I)



- H29年4月6日開所
- 所在地：大槌町大槌第23地割25番地25
- 愛称：「OLA I (おらーい)」 (大槌弁で「私の家」、「Otsuchi Learn Act Innovate」の略称)
- 対象：2～9年生及び高校生
- こども達の安心・安全な居場所の確保を目的とした「大槌町こどもセンター」(H24年4月開所)及びこども達の学びたい意欲を応援する「コラボ・スクール大槌臨学舎」(H23年12月開校)の2つの機能を統合した放課後こども教育施設。

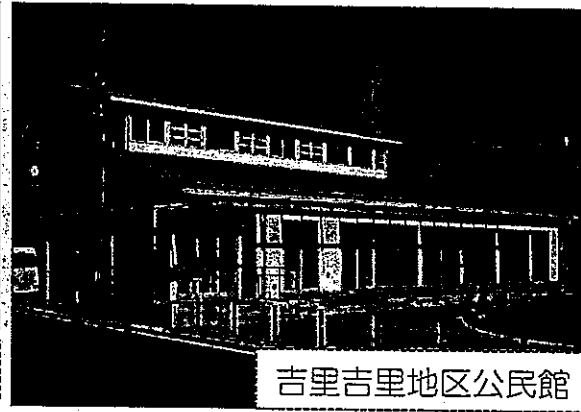
※写真はH29.4.6に実施したオープンセミナー

(7) 公民館 (8) 集会所

(7) 公民館



安渡地区公民館・避難ホール



吉里吉里地区公民館

- 安渡、赤浜、吉里吉里地区とも被災し解体済
- 安渡地区公民館・避難ホールはH29年1月供用開始済
- 赤浜地区公民館・復興まちづくり支援施設はH31年10月完成予定
- 吉里吉里地区は公民館単独でH30年4月供用開始済

(8) 集会所



大槌町小枕地区集会所



大槌町白澤寺野地区
ふれあい集会所

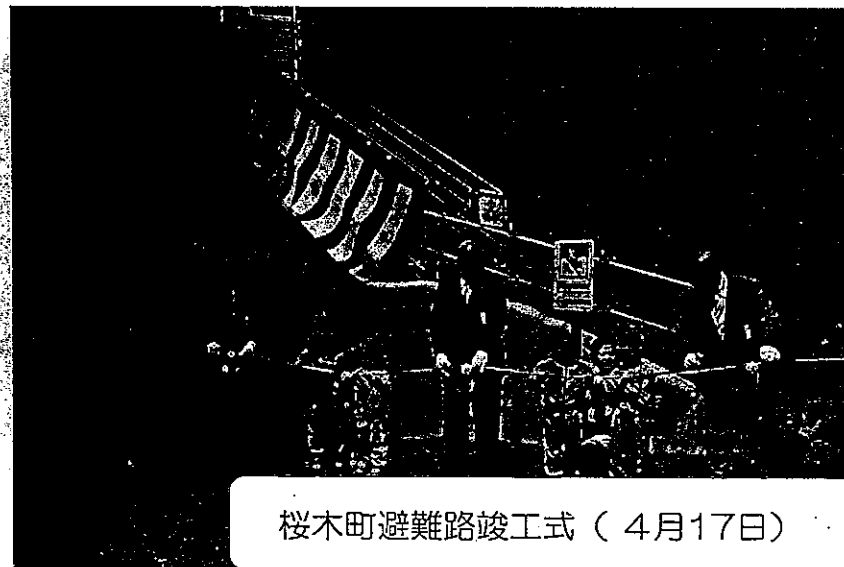
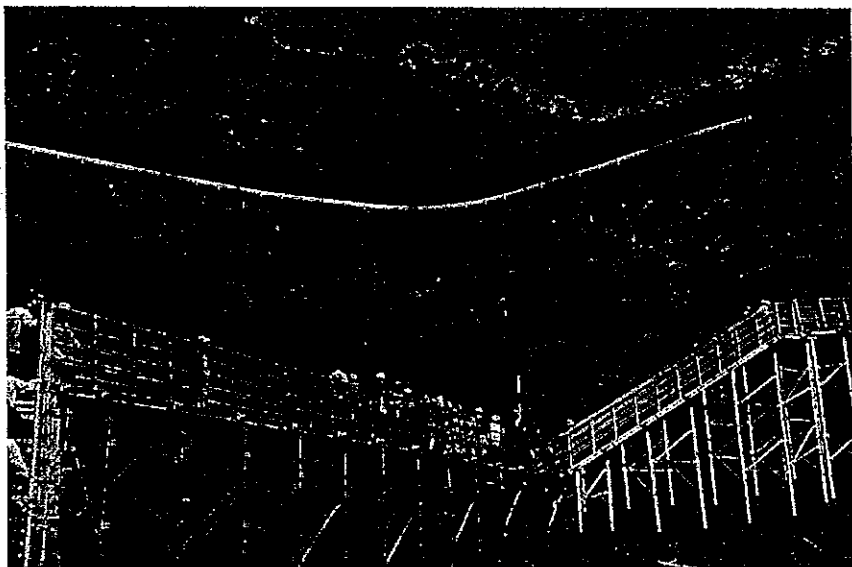


大槌町花輪田地区集会所

整備済：4箇所

- ① 大槌町沢山地区集会所
平成28年3月完成
- ② 大槌町白澤寺野地区ふれあい集会所
- ③ 大槌町花輪田地区集会所
平成29年3月完成
- ④ 大槌町小枕地区集会所
平成29年11月完成

(9) 避難路

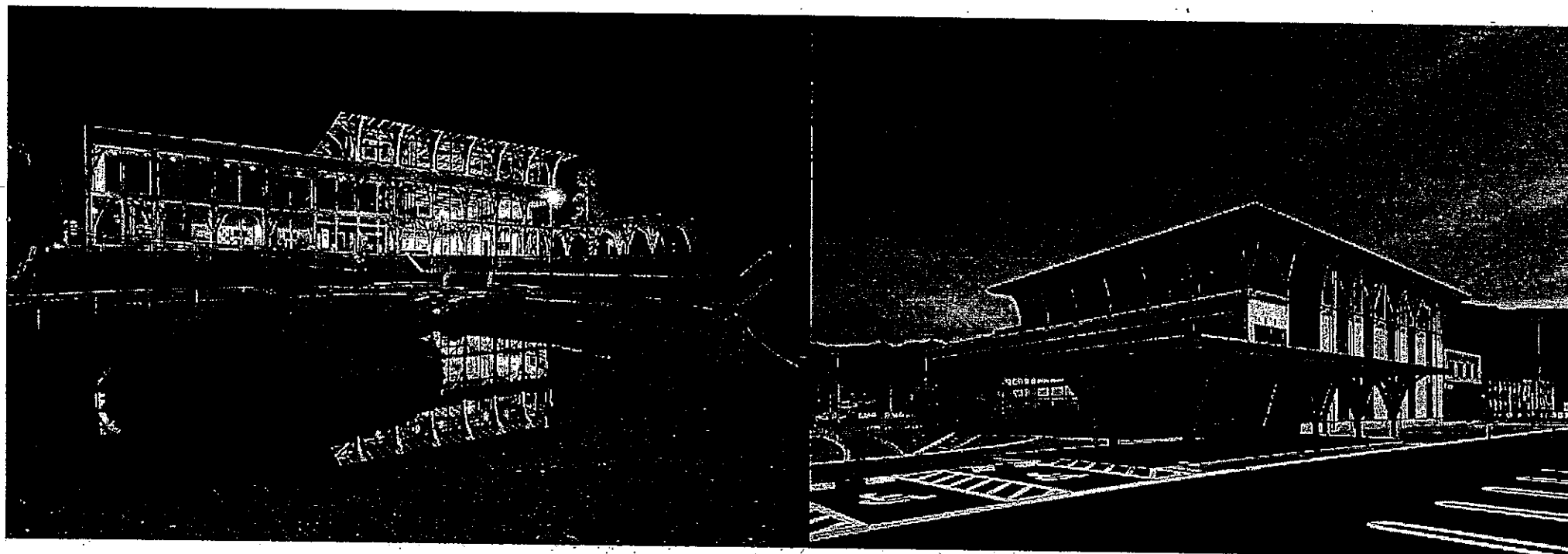


桜木町避難路竣工式（4月17日）



- 利用開始 平成29年4月17日
- 設置場所 大槌町桜木町裏山
- 建設趣旨 桜木町地区から平成25年3月に「桜木町地区避難路・避難場所整備計画」の提出を受け、町で整備を進めてきた避難路が平成29年3月に竣工しました。当避難路は、城山林道1号線に接続することで、災害対策本部の代替本部として設置される中央公民館や、町指定避難所である城山公園体育館への避難が可能になるほか、城山から自衛隊等の救助や救援物資の搬送、情報伝達が可能となるため、災害時に重要な役割を果たすものとなります。
- 工事概要 組立避難路 延長255.6m 幅員1.5m

(10) 大槌町文化交流センター



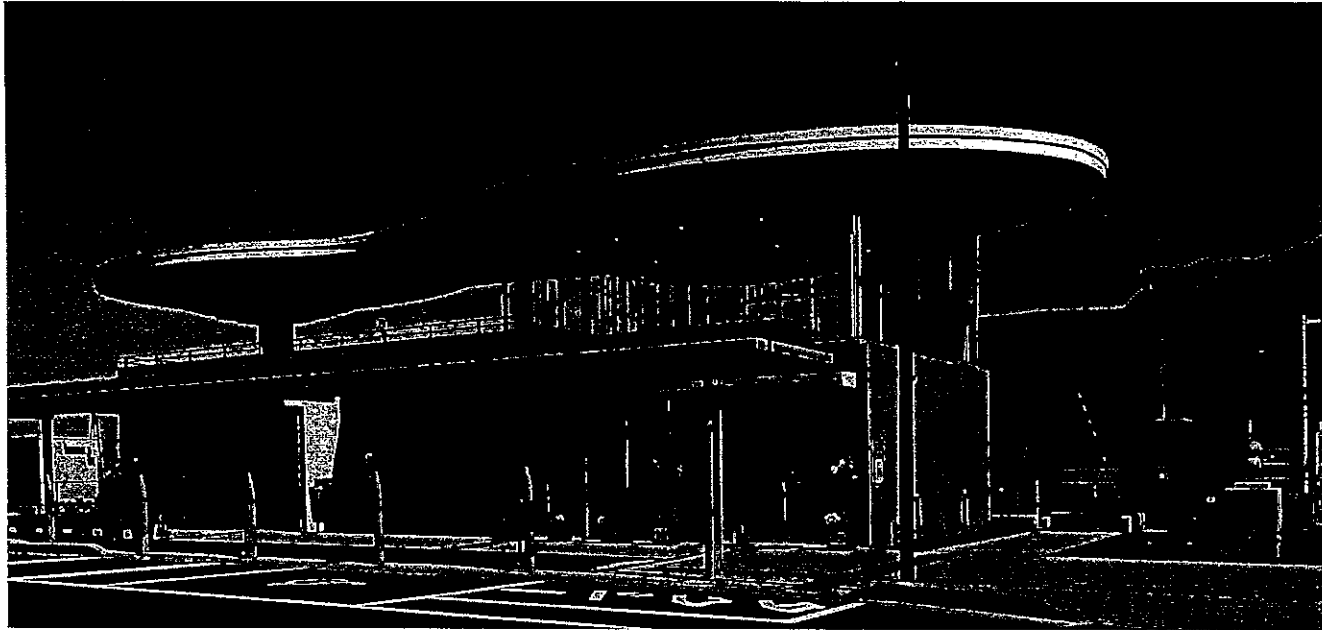
★東日本大震災により被災した御社地ふれあいセンター、大槌町立図書館等を（仮称）御社地エリア復興拠点施設として整備。

- ・ 建設場所：大槌町末広町1番15号
- ・ 施設の用途：図書館、ホール、生涯学習施設会議・交流・町民活動施設
- ・ 階数：地上3階建て
- ・ 延床面積：2,200m²
- ・ 愛称「おしゃっち」に決定（平成30年8月22日）
- ・ 大槌町文化交流センター&図書館：平成30年6月10日 開館

【施設概要】

- ・ 1階：多目的ホール、エントランスホール、ホワイエ（震災伝承展示）
- ・ 2階：会議室1～5（キッチン含む）、スタジオ（2室）、震災伝承展示室
- ・ 3階：図書館（4万5000冊）
- ・ 駐車場（89台）

(11) 大槌駅観光交流施設



↑ 大槌駅観光交流施設

東日本大震災により被災した大槌駅舎を観光等の情報発信拠点として整備

- ・建設場所：大槌町本町1番1号
- ・施設用途：駅舎、観光交流施設
- ・施設概要：鉄骨造・平屋建て
- ・駅の形：ひょっこりひょうたん島をモチーフ（デザイン選挙で決定）
- ・延床面積：161m²
- ・愛称「鮭とひょうたん島の町」に決定（平成30年3月19日）

→ デザイン総選挙ポスター

大槌駅 デザイン総選挙

いざ！ 8月11日、マストへ！

あなたの一票が 駅舎デザインを決定する！

平成31年3月の全線開通の機会に、大槌駅舎を再築し、大槌の玄関口として本町1番1号に駅舎と観光交流施設を一体的に整備することを決定しました。皆さんのご参加をお待ちしています！

8/11(金)~8/12(土)

◆日時 オープニングセレモニー 8月11日(金) 11:00~
ファン投票 8月11日(金) 11:30~17:00
8月12日(土) 10:00~17:00

◆会場 シーサイドタウンマスト 1階センターコート(大槌駅舎が3-0)

◆投票方法 ファン投票(一番良いと思う外観デザイン案にシールで投票します。)

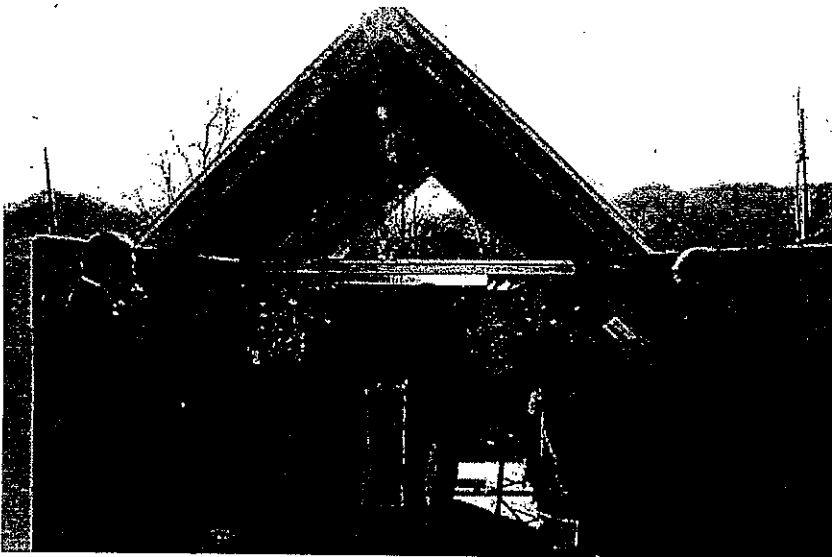
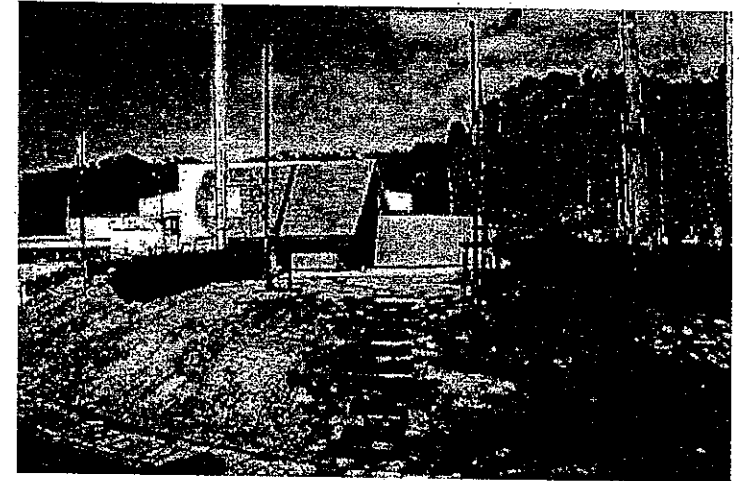
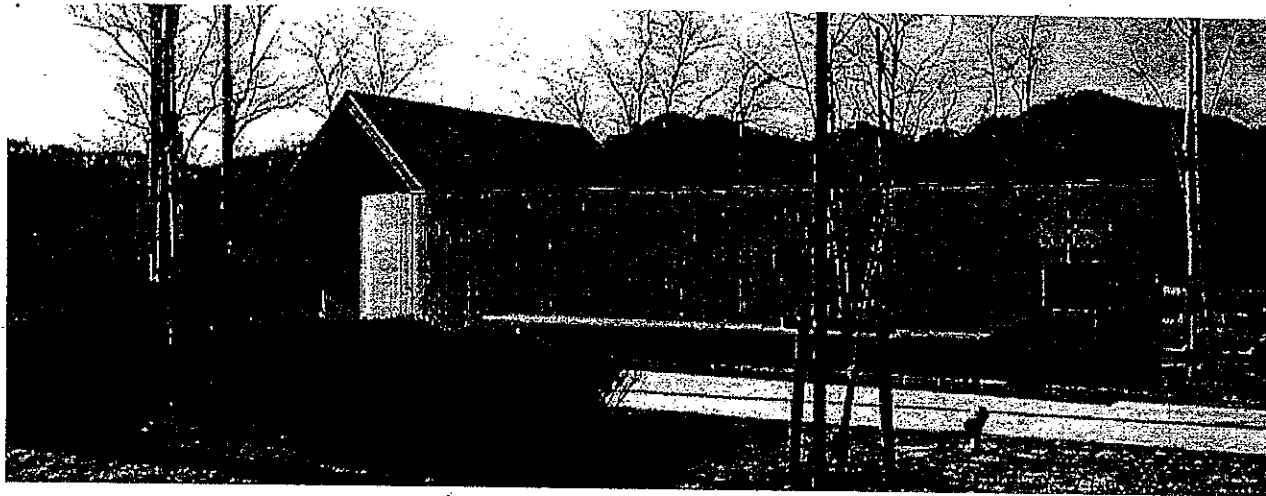
◆有給券 大槌駅をよい駅にしたいと思う方であれば、どなたでも参加いただけます。

主催 大槌町、JR東日本貨物株式会社、協賛 大槌町の観光振興 実行委員会
お問い合わせ先 大槌町の観光振興実行委員会 TEL0193-42-6724

経過

平成29年 6月	基本計画策定
平成29年 8月	デザイン総選挙
平成30年 3月	設計業務完了
平成30年 7月	工事着手
平成31年 1月	駅舎完成
平成31年 3月	全線一貫開通

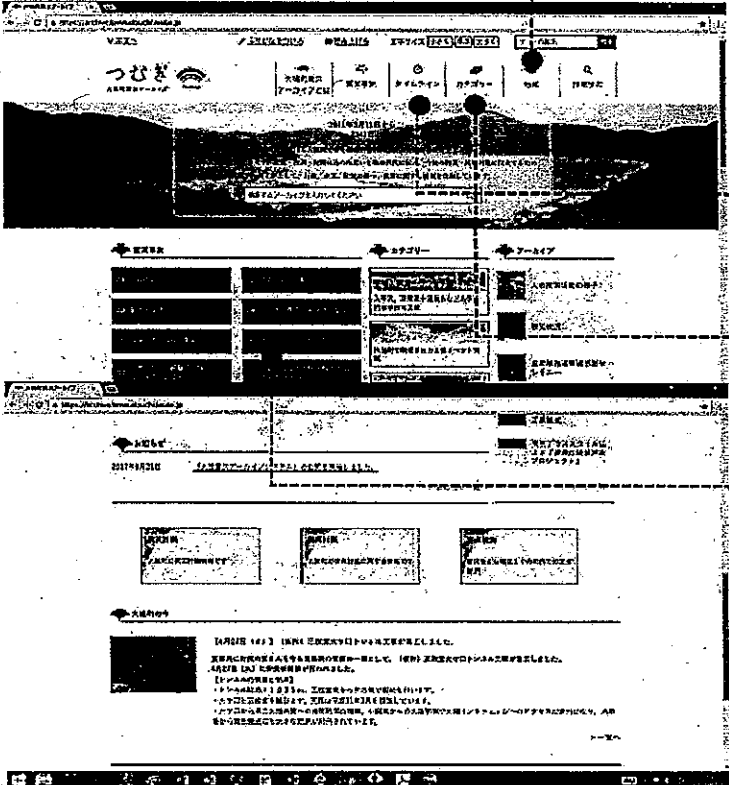
5. 震災津波伝承 (1) 納骨堂



- ・ 供用開始：平成29年2月19日
- ・ 建設場所：大船町小館第32地割字金崎126番34
(中央公民館駐車場内)
- ・ 建設趣旨：東日本大震災津波による身元不明の御遺骨
計66柱を収蔵するもの
- ・ 敷地面積：687.13㎡
- ・ 建築面積：10.37㎡

(2) デジタルアーカイブ

東日本大震災津波に関する画像や文書などを収録した大槌町震災アーカイブ
～つむぎ～の公開を開始しました。



地域別に収録

震災前2009年から
2017年まで収録。
2011年は時間経過
と共に分類収録

被害、避難防災支
援・ボランティア、
復旧・復興、行政、
福祉等12のカテゴ
リ別に収録

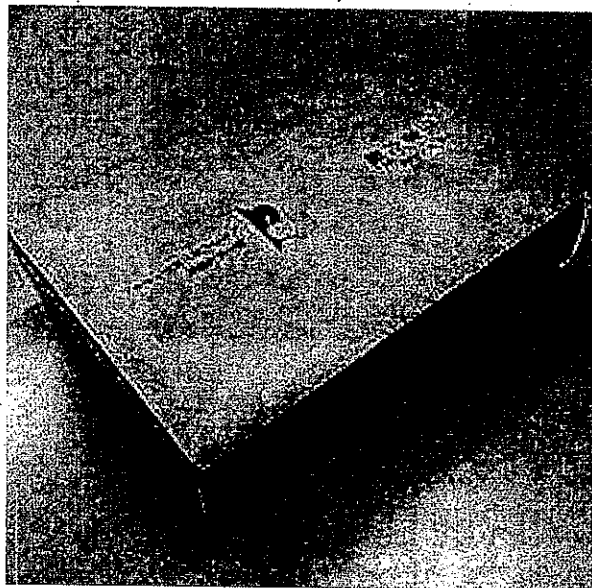
震災事象に特化し
て検索・閲覧が可
能

- ・ 使用開始 平成29年8月8日
- ・ 収録点数 約14,000点
- ・ 収録内容 震災前の大槌町、災害の状況、行政の対応、救助、捜索活動、避難所、医療福祉、かれぎ、ライフライン、まるづくり、ボランティア活動、コミュニティ再生、学校保育所の再開、産業再開など

・ URL
<https://archive.town.otsuchi.wate.jp/>
 ※27ページに記載されている「おしゃっち」を
 設置する タッチパネルモニタでの閲覧も可能と
 なります。

(3) 生きた証

東日本大震災津波で犠牲となられた方々の人生の歩みや、震災時の様子などを記録した「生きた証回顧録」の平成28年度版と平成29年度版が発行となりました。
平成28年度版には、545名、平成29年度版には76名の方の記録が掲載されています。



発行された回顧録

【平成28年度版】

- 発行日：平成29年3月11日
- 発行部数：1,000部
- 配布部数：遺族分 394部。残部につきましては、希望される方へ販売

【平成29年度版】

- 発行日：平成30年3月11日
- 発行部数：900部
- 配布部数：遺族分 51部。残部につきましては、希望される方へ販売